

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【284】
2. 日 時：令和4年9月30日 13時30分～17時20分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

江寿企画調査官※、千明主任安全審査官、三浦主任安全審査官、

服部(正)主任安全審査官、藤川安全審査官、谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他7名※

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他5名

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁のハツリです。
0:00:05	ただいまから、島根 2 号機、設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:10	本日の議題は、屋外重要土木構造物の耐震性評価、このコメント回答及び取水槽の耐震安全性評価、これは新規の説明。
0:00:21	ということよろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:26	はい。中国電力の吉本ですそのご理解で結構です。
0:00:30	規制庁の服部です。それではまず資料の確認をお願いします。どうぞ。
0:00:36	中国電力の吉本です。それでは、資料ご確認します。いずれも提出年月日は 9 月 27 日となっております。
0:00:47	まず、資料①としまして、N-S に他 126 回、03、
0:00:53	こちら屋外重要土木構造物の該当性表です。
0:00:57	資料②としまして、N-S 日報 02601 回 04。
0:01:04	こちら、屋外重要土木構造物の補足説明資料になります。
0:01:07	最後資料 3、③としまして N-S2 歩 02602。
0:01:13	こちらが取水槽の補足説明資料、以上 3 点でございます。
0:01:18	規制庁の服部です。はい。資料の確認ができましたので、本日の説明の進め方について中国電力側から説明をお願いします。
0:01:29	中国電力の吉本です。
0:01:31	まず初めに屋外重要土木構造物のコメント回答させていただいて、そのあと取水槽の新規説明をしたいと考えております。
0:01:41	規制庁の服部ですはい。まず、コメント回答の方、1 問 1 等でやっていただいて、
0:01:47	あと時間も次第ですけど、1 回休憩を挟んで、取水槽の方の耐震性評価、安全性評価の方に、
0:01:56	行きたいと思っておりますのでよろしくをお願いしますよろしいでしょうか。
0:02:01	中国電力の吉本です。はい、その分担でよろしくをお願いします。
0:02:06	規制庁のハツリですはい。それでは説明を始めてください。
0:02:12	中国電力のヨシモトですそれでは屋外重要土木構造物のコメント回答させていただきます。
0:02:18	まず、資料①をお願いします。
0:02:23	こちら回答整理表になっておりまして、1 ページ目に、設置許可からの申し送り事項を記載させていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	84番と85番が該当するんですけども、こちら分類はBですので、会合でご審議いただく内容かなと思っておりませんが、今回資料の中身で変えた箇所がありますのでそちら。
0:02:41	ご説明させていただきたいと思っております。
0:02:43	当資料②の、
0:02:45	通し番号の131ページをお願いします。
0:03:03	資料②の131ページになりますが、
0:03:06	こちら今、第1ベントフィルタ格納槽で構造物の地質断面図を掲載させていただいております。
0:03:12	で、こちら前回からの変更点としまして、安全対策工事に伴う掘削完了後の地盤条件を、基本とするように見直しております。
0:03:21	この
0:03:23	話題が概要するのが、第1ベントフィルタ格納槽と低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽になります。
0:03:30	同じ資料の33ページをお願いします。
0:03:44	33ページには解析手法の選定フローを掲載させていただいておりますけれども、先ほどの地盤条件を踏まえて、フローの行き先のところを今回見直しております。
0:03:54	それに加えて、掘削完了前、
0:03:58	の地盤条件による解析も実施する方針としておりまして、詳細については参考資料の⑥に示しております。
0:04:07	以上が、
0:04:09	84番と85番の申し送り事項に関連する新規のご説明になります。
0:04:13	以上です。
0:04:16	規制庁の服部です。はい、わかりました。詳細については、会合の方で説明していただくということなんですが、ただいま説明のありました実事項について確認する点があればお願いします。
0:04:42	A規制庁のミウラですけど、
0:04:45	今は御説明731ページ。
0:04:48	なんですが、
0:04:50	安全対策工事としての空隙部をモデル化しますというお話をさせていただいたんですが、
0:04:58	これで液状化対象層、
0:05:02	になっている部分と、攻撃部の間の境界条件だ解析上どのように扱うんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:10	はい。中国電力の吉元です。ただいまの境界条件については、ほど目を設置しております、土居の耐震性を別途説明しますので、この構造物の解析においては、ここは、
0:05:22	5張りを設置して、土が踏み出さないような境界条件にするように考えてます。以上です。
0:05:29	規制庁の三浦ですけども、それは、
0:05:33	土どめをSsでもつように設計されるという意味でしょうか。
0:05:40	中国電力の石本です。そのご理解です。
0:05:45	そうすると、この止めというのは、本設構造物として扱うという意味になるのでしょうか。
0:05:58	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:06:01	江藤。こちらのところは
0:06:03	保管アクセス数の関係の斜面になっておりまして、ここには実際には構台を作っていくということを今考えております。その中の説明資料の中で、
0:06:16	ご説明をしていきたいと考えておりまして、構台につきましては今
0:06:21	正式にアクセスルートの一部ということで、説明をいたしますその中のものとして、止めのところもあわせてご説明をさせていただきたいと思っております。で、
0:06:31	位置付けにつきましては、その条件の中でですね、再度ご説明をさせていただきたいというふうには考えております。以上です。
0:06:40	規制庁の三浦です。今のお話を伺っていると、この止めというのは、施設としては取り扱うということになるのでしょうか。
0:06:52	はい。中国電力の吉富でございます。
0:06:55	衛藤。
0:06:58	斜面上の影響として、それが必要な項目だという施設という御説明になれば、敷地内土木構造物という、
0:07:08	施設名のものがございましてその中で、ご説明することになると思っておりますので、
0:07:16	例えば岩盤等でそれ、その土どめが、
0:07:20	あってもなくてもその影響がないというものの設備であれば、そういったものは、設備として計上する必要はないのかなと思っております今この
0:07:30	土砂の部分については、おそらく

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:33	それがないと整理しないんじゃないかというふうに思っておりますので、ご認識の上、今日の結果になるんだと思っておりますけれどもそれについてはまた結果とあわせまして、
0:07:44	状況をご説明させていただけたらと思います。以上です。
0:07:48	規制庁の三浦です。やっぱりちょっと今のお話通りだと思うんですね。
0:07:53	これはやはり、これがないと整理しなくなる。
0:07:58	ということになると思いますよね。解析モデルの中でも重要な位置付けを占めると思うので、
0:08:03	これについては、
0:08:05	こういう今日本日議論があったってことを踏まえてですね、今後ちょっと詳細にご説明いただきたいと思うんですがいかがですか。
0:08:13	はい。中国電力のヨシツグでございます承知いたしました。こちらにつきまして
0:08:17	別途取りまとめまして、結果とあわせてご説明の方させていただきたいと思っております。以上です。よろしく申し上げます。
0:08:27	あ、瀬崎ですけど、ちょっと発言してもよろしいですか。規制庁の服部です。お願いしますどうぞ、戸松の方からはちょっと事実確認ですが、
0:08:37	今言った止めのお話ですね、Head名なんですけども、
0:08:42	講師指標の昇降ですね、中央港はどういったタイプを考えたいと考えられてるんですか。
0:08:51	基本的に切り張りは考えてないんですよ。桐原大越は、
0:09:04	はい。中国電力です。
0:09:06	今計画しているドメインの資料につきましては、親具横矢板、それにグラウンドアンカー、
0:09:12	土砂部のところでは計画しており、岩盤のところでは、吹き付けロックボルトを予定しております。以上です。
0:09:19	はいわかりました。後も、もう1点、
0:09:23	II-4-11の
0:09:25	4の両括弧1のこのA断面ですね。
0:09:30	この
0:09:33	左側にある斜面っていうのは、毛利どうなんですよこれも割と斜面っていうのは、基本的には、
0:09:43	ずっと設置許可のですね、斜面安定に関係してる斜面でしたっけ。
0:09:52	対象斜面でしたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:56	はい。中国電力のヨシツグでございます。今江崎さんがおっしゃられた通り、
0:10:02	岩盤斜面とモリタ斜面ということでここ森野斜面の代表の説明をさしていただいております。以上です。わかりました。そうしたらですね。そうすると、
0:10:14	いわゆるは、
0:10:16	ここで言う当行を公認でいうと、多分、Sクラスへの波及影響を及ぼす斜面になるわけですね。
0:10:27	今までは地盤があって、
0:10:30	確かあのあの土地キーワ多分、
0:10:33	斜面の下は液状化し、
0:10:44	規制庁のハツリです。江崎さんの声が聞こえませندうぞ。
0:10:50	掘削、基礎掘削を行うことによって側部の掘削を行うことによって、
0:10:58	いわゆるその斜面の安定に影響を及ぼす影響等は、再度公認で確認しないとイケないと思うんですがいかがでしょうか。
0:11:08	はい。中国電力のヨシツグでございます。今江崎さんおっしゃると我々も確認をしてご説明をしようというふうに考えております。以上です。
0:11:16	規制庁矢崎です。結果を待ってから話をされても全然計画変わっちゃうんだけど、もうその辺りの辺り計算とか、ある程度見通しはついてるんですか。滑らないっていう。
0:11:32	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。あたりの確認はさせていただきます、
0:11:39	今、物理等が正式に公認で確認地下水とかが固まりましたので、改めて今整理をしてご説明をする準備をしているところでございます。
0:11:49	以上です。はい。それはいつごろ聞かされる形になるんですかね。
0:11:57	はい。中国電力のヨシツグでございます遅くとも年内中にはその結果をご説明をして、
0:12:05	それ評価の方をご説明したいというふうに考えております。以上です。わかりました。また相馬。
0:12:11	できるだけ早めにですね
0:12:14	うまく、基本的まだ大きな検討が課題があれば、問題になりますんで多分この中に、
0:12:24	カセ広大ですか。今仮設講座っていうんでないんですね構台基本出るんですよね。この香田伊井の設計も含めてそういうアクセスルートだ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	と思うんですが、その辺りで一連のものとしてですねある程度説明いただいた方がいいと思うんですがいかがですか。
0:12:39	はい。中国電力のヨシツグでございます。我々も構台と合わせまして、この掘削に伴う
0:12:47	斜面の安定検討というのを、あわせてご説明しようと考えておりますので、一緒になった合わせて、年内までにはご説明をしたいというふうに考えております。以上です。
0:12:59	はい。あとですね、一つ時になったのがさっき、敷地内一般土木工作物を、
0:13:07	敷地の一般土木という土木構造物という扱いにしたときに、要目表とか設置許可、
0:13:14	との関係性って問題ありませんか。
0:13:19	そう取り扱った場合ですね。
0:13:21	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:13:25	衛藤。
0:13:26	今回アクセスルートのところでございますので抑止杭と同じ位置付けで、あ、すみませんそうじゃないですねSクラスへの波及的な影響の斜面の話だから、ちょっと話は違ってくると思うんだけど、
0:13:40	中国電力のヨシツグでございます。ちょっとそこあたりもう1回整理をさせていただいて、あわせてご説明させていただきたいと思います。整理結果については早目にご説明させていただきたいと思います。ですから、発足することによってちょっと、
0:13:54	念押しですが、掘削することによって設置許可にたちも戻らなきゃいけないことにならないかどうかちょっとそれ、ちょっと確認してもらえますか。
0:14:04	はい。中国電力の吉住でございます。いわゆる周辺斜面の安定性という観点でね。はい。中身、十分理解いたしましたのでまたご説明させていただきます。多分大丈夫だと思うんですけどちょっとやっぱり電話した後で、
0:14:19	大変な一大事にならないようにちょっと確認はしてください。
0:14:24	はい、中国電力のヨシツグです。承知いたしました。
0:14:33	規制庁の服部です。
0:14:35	他に関連して確認する点がある方お願いします。
0:14:39	よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:41	ではコメント回答ヒアリングのコメント回答の方に進んでください。どうぞ。
0:14:49	中部電力の吉元です。それは資料 01 の 5 ページ目をお願いします。
0:14:59	今回コメント回答基本的に 1 問 1 等でやっていくつもりですけれども関連するコメントをまとめてご説明したいと思ってます。
0:15:08	まず初めに、ナンバー46 になりますが、
0:15:13	コメントの内容としましては設工認審査において、耐震性評価を説明しない隣接構造物を保守的に埋戻量としてモデル化。
0:15:20	するが、液状化による影響は考慮しないということについてその根拠及び妥当性について説明すること。
0:15:27	この隣接構造物絡みのコメントで、関連するものとして 54 番、
0:15:33	こちら、屋外配管ダクト、タービン建物から放水槽について、低耐震クラスの放水槽による波及的影響を検討した上で、解析モデルが保守的となっていることを説明すること。
0:15:45	また次のページに移りまして、
0:15:47	55 番。
0:15:49	なんですけれども、屋外配管ダクトタービン建物から放水槽の評価における、ディーゼル燃料貯蔵タンク室の位置付け、設計上の取り扱いを説明すること。
0:16:00	これら三つについて資料②の 209 ページからご説明いたします。
0:16:17	資料②の 209 ページですけれども、
0:16:20	8 ポツ 1、隣接構造物のモデル化方針のパーツでございます。
0:16:26	江藤コメント回答の具体的な中身は、後程、フローを用いてご説明させていただきます。
0:16:31	まず初めに、4 パラグラフ目になりますが、なお書き以降で黄色で追加してる部分をご説明したいと思います。
0:16:41	こちら隣接構造物の扱いを今回追記しておりまして、衛藤、少し読み上げさせていただきますと、隣接構造物、過去隣接構造物のさらに外側に位置する隣接構造物の及ぼす影響については、
0:16:54	硬質岩盤においては、隣接建物が検討対象建物の応答に与える影響が小さいとされており、
0:17:01	がんサイトである島根原子力発電所第 2 号機においても、同様の傾向であることを、補足説明資料の隣接建物の影響に関する補足説明資料で確認しており、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:12	それを踏まえて、隣接構造物は保守規律としてモデル化する基礎、方針を記載させていただいております。
0:17:19	今ご説明した図書につきましては今週水曜日のヒアリングでご説明済みの内容になります。
0:17:27	同じ資料の 212 ページをお願いします。
0:17:39	212 ページは、今回新たに隣接構造物のモデル化フローというものを追加させていただいております、こちら先ほどのコメントについて回答しようと考えております。
0:17:50	まずこのフローについて、一番初めに、少し誤植がありましたのでそこ訂正とお詫びをさせていただきたいんですけども、
0:17:58	江藤、まず、ページ真ん中ぐらいに、破線、
0:18:03	で囲っております、隣接構造物の対象について選定と記載しているところですけども、その中のひし形、耐震性を有するか否か。
0:18:11	のところの分岐を、下の方に、Yesの方に渡ったときに、
0:18:15	括弧Bの四角に繋がって、そこから(エ)確保し、カッコdの方に繋がるような、
0:18:21	フローになっておりますけれども、このひし形から、
0:18:24	それぞれの箱に対して、直接へと分類されるような説明をしたかったんですが、ちょっと誤解を招くような、
0:18:32	形になってしまっているの、その
0:18:36	修正、
0:18:37	と、あと次回以降、直していきます。
0:18:42	で、コメントの回答につきましては、
0:18:45	コメントの中にありました放水槽と、
0:18:48	ディーゼル燃料貯蔵タンク室がどのようにフローで分類されるか。
0:18:52	ここをご説明しようと考えております。
0:18:55	で、この二つの構造物についてはちょっと元に、
0:18:58	ご説明したいんですけども、221 ページをお願いします。
0:19:11	を、
0:19:14	221 ページでは、屋外配管ダクト、タービン建物から放水槽、
0:19:20	こちらの構造物に対する地質断面図になっておりまして、
0:19:24	その
0:19:25	北側に、放水槽が位置しております。また、南側には、ディーゼル燃料貯蔵タンク室が維持しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:35	で、これで1階フローの方に戻っていただいて212ページをお願いします。
0:19:46	まず放水槽につきましては、一番上のひし形ですね、耐震性を有するか否かのところで、耐震性を許さない。
0:19:55	構造物になりますので、脳の左側の方に分類されます。
0:20:01	で、そのフローの絵で行き先ですが、
0:20:04	隣接構造物候補のうち、耐震性を有さない構造物が隣接する場合にはなりましてこちら埋め戻し度としてモデル化する。
0:20:11	分類になります。
0:20:13	構造物を保守的に埋め戻しろとすることから、液状が考慮しない。
0:20:17	こととしておりますが、設計地下水が評価対象構造物の底盤よりも高く
0:20:22	て、
0:20:22	隣接構造物周辺の液状化対象層が評価対象構造物に対して、
0:20:28	影響を及ぼす可能性がある場合については液状化を考慮する、こういう方針としております。
0:20:34	その下の四角ですが、
0:20:36	今回の放水槽については、液状化を考慮しない埋戻し度として、
0:20:40	モデル化する構造物に分類されるようにしております。
0:20:44	その理由について注記のアスタリスクの2番で飛ばしておりますけれども、
0:20:49	衛藤。
0:20:50	隣接構造物周辺の液状化対象層が、
0:20:54	僕は閉館ダクトタービン建物から放水槽に対して液及ぼす可能性がないことを、
0:20:59	参考資料の4で確認していることから液状化を考慮しないと。
0:21:02	そのように記載させていただいております。
0:21:06	参考資料4の具体的な中身については前回のヒアリングで、
0:21:10	ご説明した内容ですので割愛をさせていただきます。
0:21:15	続きましてもう一つのディーゼル燃料貯蔵タンク室の分類につきましては、
0:21:19	先ほどの耐震性を有するのひし形のところで、
0:21:24	この構造物は工認添付書類の対象構造物ではないのですが、別途耐震性を説明する構造物になりますので、衛藤干潟の下の方に、
0:21:34	分離されます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:36	先ほどの評価対象構造物を設置してますので(エ)の分類になりまして、行き先としては、隣接構造物としてモデル化。
0:21:44	になります。
0:21:47	このようなフローで、隣接構造物を分類し、モデル化方針を定めようと。
0:21:52	いう方針としております。
0:21:54	以上がNo.の 465455 に対する回答となります。
0:22:01	規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点があればお願いします。
0:22:13	あ、木崎ですけども。
0:22:15	えっとですね、ある程度、
0:22:18	具体的な話はわかったんですが、ちょっと私の方としては、通常話を省略した。
0:22:24	参考 4 の 247 ページですね。
0:22:29	この 247 ページの中で、表 2-1 の一番下④の段ですね、そのの、
0:22:37	波及的影響の可能性の有無といったところで、
0:22:42	損傷と転倒と落下っていうのがあって、基本的には落下の話は基本的には、
0:22:53	南側の
0:22:54	側壁を、
0:22:55	そうして、
0:22:58	落下するっていうか、転倒して転倒するようなモードが起きたとしても、影響はないっていうのはわかりました。それで、
0:23:05	逆側の方に関しても
0:23:11	NMRもあるから、こっち、逆に池側に倒れることがあっても、
0:23:17	介護の屋外は配管ダクトの方には別に影響がないっていうのも、理解できます。で、転倒の方は何を言ってるかと地中構造物、何で転倒しないと言ってんだけど、
0:23:30	逆に敢然とがなくなったら浮き上がったら影響があるので、その記載は下ちょっと直していただきたいなと思うんですが、
0:23:38	実際にね、この転倒というものがどういう影響があるかって言ったら、多分、
0:23:46	213 ページに戻ると、
0:23:49	いわゆるこの屋外配管ダクト側に転倒するモード、要はへ、要は浮き上がったって話ですね。だけど、基本的には、
0:24:00	右側側壁と同じロジックでMMR等がありますから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:05	基本的にはそちらの方に、構造物全体が倒れ込むことはないわけですよね。
0:24:11	だから、
0:24:12	そういった基本的な点と、
0:24:15	いわゆる屋外配管ダクト側にMMRがあるので転倒しないっていうのは、よくこの絵を見ればわかる話なので、多分そうした趣旨を書いていた方が、
0:24:26	地中構造物が転倒しないって言っても結局、
0:24:30	大室によってはですね下、青、
0:24:33	特タテダ系のものなんかって言えば、市の底盤が浮き上がってっていうのは、
0:24:39	ありますから、そういうことが考えれば、もうそそうすると荷重とかその構造形状とかそういった細かい分析がないとそこまで話には至らなくなっちゃうんで、
0:24:49	実際に、現実的にはMMRあるので、そちらが転倒しないっていうことがよくわかる話なんでもっと単純な、
0:24:59	ロジックにできませんかね、いかがでしょうか。
0:25:05	はい。中国電力の吉本です。今おっしゃられたように、放水槽が自立しないというか、補対象構造物側にもたれかかるような、
0:25:14	モードも確かに考えられるかなと思いますので、MMRがあることでその評価対象構造物に荷重が生じることはない。
0:25:24	もしくは、今保守的に土にして、解析を進めてますのでそっちの荷重のほうが大きい。そちらの整理も含めて、
0:25:32	反映したいと思います。以上です。よろしくどうぞよろしくお願いします。
0:25:40	規制庁の服部です。他あればお願いします。
0:25:44	よろしいですか。では次お願いします。どうぞ。ごめんなさい。これって、結構いろいろ構造物が、今説明したのは放水槽だけでいいのかな。
0:25:58	まだあれですよ。ジョーカー層とか、の話とかはこれから説明されるってことでよろしいですか。何か、222 ページの良家増とか、
0:26:08	膨張消化槽とかの話は、
0:26:13	はい、中国電力の吉元です。我々のイメージとしましては、コメントに、
0:26:18	出ております放水槽とディーゼル燃料貯蔵タンク室について、代表してご説明しましたが、上、浄化槽やその補助消火水槽においても、
0:26:28	と同様のフローで識別してますということで、すべて説明したつもりでした。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:40	それと、
0:26:41	もう一つわからなかったのは、数、説明がほとんど簡単で、言葉だけだったんだけど、
0:26:48	この後戻ると、
0:26:50	いわゆるこの、
0:26:55	くどがある。
0:26:57	それフィルターベント基礎の空洞がある部分の話なんですけど、
0:27:01	これで、基本的には空洞のないもの。
0:27:04	に関しても先ほどの館カセ妹尾。
0:27:07	検討はしていくってことで確か後ろの後ろの方にあっと思うんですが、
0:27:12	その時は使えばどういう取り扱いになるんですか。
0:27:16	基本的にはあれですよ。215 ページの例えば、AA断面とか、
0:27:22	こういったものがセイキのものになって、
0:27:26	実際に
0:27:29	何だろう、この空洞の部分が、いわゆる海の人があるような状態。
0:27:36	それも結構先ほど検討するって話。
0:27:39	だったと思うんですが、ここをもう少し、
0:27:41	具体的に説明いただけますかという取り図書上の取り扱いにするのかとか、どのような検討の状態になるのかっていう話で、
0:27:53	はい、中国電力の吉元です。はい。今おっしゃられたようにですね、実際に掘削をする前の状態におきましても解析をする方針で、鳥栖参考資料の6について、
0:28:05	残りの中でその状態についても地質断面図等でお示しをしております。
0:28:10	で、この説明については、耐震計算書の、
0:28:15	本編の方では先ほどの掘削完了後のものを評価していくんですけども、その別紙として、掘削前のものも、
0:28:22	付けていく予定です。以上です。はい、わかりました。検討ケースってのはどうされるんですか。やっぱりそのセイキの方、役場の方はプロスペックの、
0:28:33	検討ケースが必要ですよね。プラス喜多とか、
0:28:37	次、地震動の先端を。
0:28:40	これもですね
0:28:45	はい。中国電力のヨシツグでございます。検討ケースについてはまだ十分書き切れてないところがございますので、今吉本が申しました通り、
0:28:56	こちらのフクマの経験を聞きたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:00	基本的に言うと、セイキのものはフルスペックで、
0:29:05	やるっていうことでよろしいですね。もうこれはまあ、やるやらないじゃやっていたかかないともうそれは適合性がないという形になっちゃうんだけど、
0:29:14	片方で、もうすでにもう状態としても、今現状ではない。
0:29:19	梅野小掘削する前の状態っていうのはある程度、
0:29:24	検討ケースは須藤減ってもですね、増減しても経減車を、
0:29:30	取ってもですねそれはあまり問題はないと思うんですけども、今で通常ないような状態ですから、
0:29:38	それでよろしいですね。はい。中国電力のヨシツグでございます今江崎さんおっしゃられた通り、最初の方の本編の方で書いてあるのが基本ケースとして、いろいろな検討をしていきますんで、
0:29:50	参考に書いてあるものについては、
0:29:53	もうすでに掘削しているところもございますので、検討ケースは絞ったものでご説明の方、今考えております。以上です。
0:30:00	はい、わかりました。私からは以上です。
0:30:07	規制庁のハツリです。他よろしいですか。
0:30:12	はい。それではヒアリングのコメント回答の方に、
0:30:15	移ってください。
0:30:18	はい、中国電力の吉本です。
0:30:20	ちょっと次のコメントの前に、今のナンバー46、5455については、良ということでもよろしかったでしょうか。
0:30:28	規制庁の服部です。江崎さん量でよろしいでしょうかどうぞ。
0:30:31	量でいいですよ。後で、適正化として、さっき言ったあそこだけ直すっていうのだけは備忘録的に(ア)切り換えということでもらえば、
0:30:42	参考 14 の中の話ですね。
0:30:46	はい。中部電力のヨシモトで承知しましたありがとうございます。
0:30:51	それでは引き続きコメント回答させていただきます。資料 01 の 5 ページ目とNo.51 になります。
0:31:00	コメント内容としましては箱型構造物の断面選定、評価方針について整理の上説明すること。
0:31:07	これに関連しまして、次のページ、
0:31:09	の、
0:31:10	ナンバー57 になりますが、弱軸方向の地震をと解析における妻壁のモデル化の考え方について説明すること。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:18	こちら合わせて、当資料②の 27 ページでご説明します。
0:31:36	27 ページ、4 ポツに、各施設の構造上の特徴と断面選定の方針の整理、
0:31:43	のパートですけれども、(1)で箱型構造物について記載をしております。
0:31:47	あと前回から引き続きのご説明になるんですけれども、まず、2 パラグラフ名ですが、
0:31:55	弱軸方向断面では、梁要素の曲げ軸力系及び面外せん断破壊に対する評価を実施する。一方で、教授方向断面の曲げ軸力及び、面外せん断破壊に対する、
0:32:07	評価は、弱軸方向の評価に包絡されることから実施しないと、としておりますけれども、
0:32:13	今回、資料の真ん中下ほどですね。
0:32:17	黄色で新たに追加しておりますけれども、さらに構造上の強軸方向断面となった場合においても、周辺地盤の観点から、弱軸方向断面と比較して同斜等の外力が、
0:32:28	大きくなる可能性がある場合は、強軸方向断面の評価に加えて、
0:32:33	弱軸方向断面と同様の評価を追加検討として実施する方針を記載しております。
0:32:38	この方針に伴って、
0:32:42	評価するものする内容が変わった構造物がありますので、29 ページをお願いします。
0:32:52	を、
0:32:55	29 ページ、箱型構造物の断面選定及び評価の考え方の表になるんですけれども、
0:33:01	ところの一番下に緊急時体制対策所要燃料地下タンクという構造物がございますが、
0:33:07	表の中の弱軸強軸の選定理由の列ですね。
0:33:12	1 ポツ目は、B断面と比較して、A断面は耐震評価上考慮できる妻壁の割合が小さいことから、
0:33:19	構造上の弱事故方向断面となる。
0:33:22	二つ目に、衛藤。
0:33:24	B断面、これが教授のことですけれども、構造の教授方向断面ではあるが、そこに埋め戻し度が分布しており、弱軸方向断面と比較してドアシユトウの概略大きくなる可能性があることから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:36	強軸方向断面の評価に加えて、弱軸方向断面と同様の評価を追加検討として実施する。
0:33:42	この2ポツ目が、更新で大きく変わった部分になります。
0:33:46	で、具体的な内容がさらに右側に記載がございますが、
0:33:50	衛藤。
0:33:51	妻壁のモデル化方針の2ポツ目。
0:33:54	は、江藤追加検討においては保守的に妻壁の剛性を見込まずにモデル化する。
0:33:58	で、その隣の評価方針の2ポツ目。
0:34:02	追加検討においては梁要素の曲げ軸力系及び面外せん断破壊に対する照査を実施する。
0:34:08	このような方針を追加させていただいております。
0:34:11	以上がNo.51と57に対する回答となります。
0:34:16	規制庁のハツリです。はい。
0:34:19	ナンバー57について、
0:34:22	27ページのこの黄色いのところの方針については理解をしました。
0:34:28	ただちょっと
0:34:30	ちょっとずっとこだわってるところが、ここは私ありまして、ちょっともう1回だけ確認させていただきたいんですけど。
0:34:37	私の理解でわあ、
0:34:39	許可のときわあ、
0:34:41	箱型構造物というのは、
0:34:44	例えばここに書いてあるような通水方向とか感じ配管方向が
0:34:49	あるやつもあるんですけど、
0:34:51	水槽のようん。
0:34:53	とか、その何だろう。
0:34:55	格納槽のように、通水方向とかないような、箱型構造物を一般的に箱型のイメージをしていて、
0:35:04	基本的にわあ目、教授と弱軸が明確ではないので、
0:35:13	妻壁のその面積とかそういうところを評価して、
0:35:18	そう、相対的に、
0:35:20	どちらが弱軸か教授かを決めて、相対的に弱軸な方で検討します。
0:35:29	という方針で理解をしていた。
0:35:33	んです。許可のときはね。
0:35:37	そういう説明だったと思ってるんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:39	今回は通水方向とかは、配管方向があるから明確なんですと言ってるんですけど、
0:35:46	何か許可のときと言ってることが少し違うのかな
0:35:52	確かに取水槽みたいなものワース通水効果あるんですけど、
0:35:56	どちらかという箱式というイメージからは少しくイレギュラーなものかなと思っていて、結果的に妻壁が多いので箱シキビのような形状になるんですけども、
0:36:08	どっちかという箱式っていう等水槽のようなものをイメージしているので、許可のときその説明の方が、何となく理解がしやすかったですよね。
0:36:20	そこがちょっとよくわかんどうかなってずっとこだわっています。
0:36:25	許可の時はそれに加えて教授の方はどうするのということを、
0:36:29	設工認の方でっていう話にはなってるんですけど、
0:36:34	その時一番最初の方の回答は、
0:36:38	強軸方向は基本的に妻壁で、構造全体としては、構造成立性を表示しますと。
0:36:48	ということは理解をされていて、
0:36:50	ただ構造全体としては成立していても、すべての力を持つ真壁が受けるんで、それで成立すれば成立するんですけど、
0:37:01	でも
0:37:03	妻壁になって、ある程度圧はかかるよねということで、
0:37:08	そのドア、妻壁が面外方向に破れたら幾ら構造全体で成立していても、中に土が入ってきてしまいますよねということで、
0:37:18	何らかの評価が必要じゃないんですかということに対して、
0:37:22	中国電力側からは、水平2方向の方の検討があって、そのときに教授区方向の
0:37:31	動解から道道圧とか慣性力を求めて、一方向版とか日本語版で一応確認はしますということによって、
0:37:42	一応、すべての面、
0:37:45	教授も弱軸もう、
0:37:48	面外の評価。
0:37:52	こうすることになりますという説明だったと思ってるんですけど、それがいつの間にかちょっと私が変なこと言ったのもあるんですけど、包絡されますというような方針に変わってるんですよ。
0:38:04	そこがですね何でこういうふうになっちゃったのかなということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:10	少しちょっと、
0:38:11	確認をしたいんですがいかがですか。
0:38:23	はい。中国電力のヨシツグでございます。ちょっと包絡という言葉が、
0:38:30	確かにちょっと強い君。
0:38:33	全体的な構造物としては今、個人的には個人的にはといたしますか、
0:38:40	教授側の方が壁があるので、そちらの方が強いということではと思って、ただ、羽鳥さんがおっしゃられた通り各部材そのものを見たときに、確かに妻壁の部分の調査というものは、
0:38:52	どうかということで今回、ちょっとさらにということをつけ加えさせていただきました。で、
0:38:57	少し
0:38:58	さらにという言葉を入れさせていただいたところ、ところの崩落という言葉がちょっと、そぐわないので文章的には適正化をさせていただきたいと思います。今、先ほど畑さんおっしゃられた通り、今回の部材でいきますと、
0:39:12	衛藤、
0:39:14	部材や構造物全体の幅に対しての樁妻の壁のコンクリートの厚さを見ますと、やはり、
0:39:22	箱型でいきますと、
0:39:24	大体1タイ0.5ぐらいの
0:39:28	関係で、一応、こちらの方が弱軸ではないかというのが若手を一応弱軸というふうにさせていただいております。で、
0:39:37	ただそこが
0:39:39	大きく変わらないっていうのも事実で後なところもございますので、そういったところの部位等についても、今回ちょっとさらにということをつけさせていただきました。ちょっと、
0:39:49	付け加えている文章が増えてきましたので、ちょっと全体的なトーンを合わせてもう一度、適正化の方はさせていただきたいと思います。以上です。
0:40:00	規制庁の服部です。はい。あと一般的な方針として今のこのさらにのところは、窓圧とかが、
0:40:10	各その弱軸と条件が変わればやりますよと言ってるんですけど。
0:40:16	極端なこと言って、同じ、同じように周りが同じようなメモする資料であっても、構造がちょっと細長かったりすると、弱軸だけでやるんですよ。
0:40:27	教授の妻壁はどうなの面がどうなってますかというときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:32	工学的には、ほぼ包絡されるというか、同じなんだろうなということ 理解はできるんですけど、
0:40:39	一応やっておかなくていいんですか、まあやっという方がいいんじ やないかな。
0:40:44	やっても結果は変わらないっていうのも何。
0:40:47	工学的には大体わかるんですけど、
0:40:50	ただ原子力なのでっていうところもあって、何らかでその話をした時に、 中国電力側から水平 2 方向があるので、その周辺に方向の評価を、
0:41:01	のを用いて、何らかの評価をしますっていう回答終わったと 思っていて、その方針が書かれると思ってたんですけど、今包絡するとい って、上ドーナツが変わればやるって言ってんですけど、
0:41:14	やりませんみたいなことに読めるので、
0:41:17	何かゆ、この間、合意したと違うんじゃないかなって思っているん ですよ。だから、くどいんですけど、やっても変わらないと思うんです。 それはんだけど、一応、何らかの形で目が
0:41:30	教育の面外の壁のショウジュ区方向の面外の壁も、
0:41:37	見まして評価をきちんとしましたということは、どっかに説明をした 方がいいんじゃないかなということで、聞いてるんですがいかがですか。 はい。中国電力の首藤でございます。
0:41:49	衛藤。
0:41:50	先ほどのところにつきましてはさらにと書いた黄色の上のところの なおのところで、衛藤教授方向の断面について水平 2 方向で検討 しますと。
0:42:01	で、これだけだと、妻壁。
0:42:05	というよりは教授区方向の、
0:42:09	いうところの妻壁の調査しからないように読めるというふうに我々 として考えましてそこでちょっとさらにというのを、
0:42:17	入れて、
0:42:19	教授広報。
0:42:20	野津真壁、藤。
0:42:24	軸方向、
0:42:26	側壁、
0:42:27	についても調査をしますということでちょっと追求したんですけれど も、ちょっとそのあたりが水平 2 方向とす、さらについていうので、 区分けして記載をしているのでわかりにくくなっているんだと理解 いたしましたので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:42	もう少しちょっと修文は考えたいと思います。以上です。規制庁のハットリですはいわかりました。
0:42:48	あと、明確が明確じゃないかというのは
0:42:53	言葉のとらえ方だと思うので、本当に明確なのは線状構造物なんですよね。
0:43:00	箱は、
0:43:03	妻壁の
0:43:06	面積とかを考慮したら明確になるよっていうことで明確だって書いてるならそれはそれでいいかなと思うんですけど。
0:43:13	つつ
0:43:16	そういうことだ。
0:43:17	んなんですよねっていうことだけ事実確認させていただければと思いますがいかがですか。
0:43:22	はい。中国電力の吉住でございます。
0:43:26	今おっしゃられた通り妻壁の
0:43:29	構造物の大きさに対する妻壁の厚さ、
0:43:33	それが何枚入ってるか、そういったところで工学的に、教授と弱軸を見ておりますので、そこは、今おっしゃられた通りのことをやっております。以上です。
0:43:45	わかりました。そうしましたら、事実確認としては、強軸方向の面外壁について、
0:43:53	記載を追記することから適正化することということさしていただきたいと思いますがよろしいですか。
0:44:05	中国電力のヨシモトで少々お待ちください。
0:44:26	はい、中国電力の吉本です。
0:44:28	今おっしゃられた、
0:44:30	趣旨は理解いたしました。
0:44:32	衛藤。
0:44:33	一応、先ほどご説明しました、29 ページの、
0:44:37	表の中にもですね、
0:44:39	衛藤。
0:44:40	どういう観点でそっちの断面を選定したのかっていう方針を書かせていただいています。
0:44:47	例えば先ほどの緊急時対策所要燃料地下タンクの需給塾の選定理由のところですけども、1 ポツ目で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:55	耐震評価上考慮できる妻壁の割合が小さいことからという、そういう条件での選定をしております。
0:45:03	で、なので、
0:45:14	ですので、こちら辺の記載ぶりが少し、
0:45:18	かなと思いますので、もう少し記載ぶりは修正したいと思っております。以上です。
0:45:24	規制庁の服部ですすいませんちょっとこだわって申し訳ないんですけど。
0:45:28	明らか2度圧が全然違うとか。
0:45:33	条件が違うっていうのは当然やらなきゃいけないと思うんですけど、
0:45:37	変わらなくてももう三藤区だけは見とかなきゃいけないんじゃないですかということを知ってるので、そこら辺はいかがなんですかね。
0:45:52	はい。中国電力の吉住です。ご趣旨理解いたしました。
0:45:58	明らかに箱型構造物で、その都度、あまり弱肉強食の差がないように見えるようなものを、あとは、
0:46:07	逆にすいません矢崎福地浅利ますけど、基本的にやらなきゃいけないものをやらなきゃいけない、いわゆるそのタイ、その部材に対して妻壁がある程度その
0:46:18	機能保持のために必要であればその検討は省略できません。以上。
0:46:23	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。ここはもう関西電力がみんな少し酸っぱく言ってやってもらってきたんで、御社だけやらないっていうわけにはいかないです。
0:46:34	はい。中国電力のヨシツグでございます。ご趣旨は理解いたしました。ちょっと
0:46:40	どういった調査のやり方をするかっていうところは、その構造物によってちょっと違うと思いますので、そういった箱型のところの特徴も見て、またご説明させていただきたいと思っております。はい。江崎ですけども、基本的にはその強度計算結果表は必ずつけてください。
0:47:00	はい。中国電力ヨシツグです。了解いたしました。
0:47:04	規制庁のハツリですはい。で、ちょっと私がこだわってるのは、この記載、記載のところが、そういうふうに読めないねということで、そういうふうに読めるように記載を適正化していただきたいということだったんですけど。
0:47:17	結果についてはまた、先ほど言ったように、後で確認するということなんですけど、それでよろしいですか。どうぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:26	はい、中国電力ヨシツグです。承知いたしました。
0:47:30	規制庁の服部です。
0:48:13	エザキですけど、全然声が聞こえませんがなんか調子悪いですか。すいません中国電力のヨシツグでございます。
0:48:20	今まずす。
0:48:22	水平 2 方向の調査をさせていただきますのでその中で妻壁のところの強化をさせていただきたいと思っております。その中でも、特に外力の大きなところについてはその妻壁のところ取り出してそれでも十分、
0:48:37	持ってますということをご説明をしていきたいというふうに考えております。以上です。
0:48:42	規制庁の服部です。
0:48:45	先ほど少し三浦の方からの話があったんですけど、私の認識は、基本的にはすべてやるという認識なんですけど、例えばね全くサイコロ上で、
0:48:57	形も変わらなければ、ドアズ地盤条件も変わらなければ、それは誰が見ても明白で、
0:49:06	明白ですよっていうのはわかるんですけど、少しでも細長ければ、例えば和田に水素みたいな場合、評価しないんでしょうけども、の場合は、当然弱軸でやって弱軸の壁でやるんですよ。
0:49:19	その教授にも壁があって、工学的には、
0:49:25	同じですよって、大体わかりますよねわかるんですけど、でも、一応見とかなきゃいけないんじゃないですか。土肥。
0:49:34	ということなんですけど、だからその、
0:49:38	評価の部材に漏れがあってはいけないのかなと。
0:49:42	工学的にOK、明らかにOKだっていえるものはいいいんですけど、
0:49:48	やっぱりちょっとでも条件が変わる。
0:49:51	たものは一応、
0:49:53	見といた方がいいのかな。で、何でもこういうこと言ってるかっていうと、構造物が大量にあって、そういうことであればスクリーンかけてもいいんですけど、僕は柔道構造物の発行し構造物って、
0:50:04	そんなに数がないし、
0:50:06	取水槽のようなものは 3 次元でやってしまうので、それはそれで全部見ることになるし、
0:50:14	そんな手間ではないのかなというも含めて、
0:50:20	見といた方がいいんじゃないかなと思ってるんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:23	結局あれですよ、格納槽と、
0:50:26	なんか燃料槽とか、その四つぐらいか五つぐらいですよ。
0:50:35	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:50:38	おっしゃられる趣旨は理解しましたので検討させていただきます。ちょっと当初、我々が持ってきたのは同じ壁厚、同じ配筋で、同じような動圧がかかるものの、
0:50:49	妻壁部分の調査まで本当に必要かというところでちょっと今回記載をさせていただきまして、そこはご趣旨は理解いたしましたのでもう一度整理してまとめていきたいと思っております。以上です。
0:51:00	規制庁のハツリですはいわかりましたなので、だから今話を聞いていると、
0:51:07	そういう説明があって省略しますということならそれはそれでいいかなと思うんですけど、
0:51:15	馬屋ん
0:51:17	ちょっとわからないわかりにくい。
0:51:19	明確に
0:51:21	嘘言えないものはやっという方がいいんじゃないかなということです。数も少ないのでということなので、ちょっとそこら辺はまた、中国電力から具体的に、各構造物の妻壁厚ばかりでなくて、
0:51:33	耐震性硝酸の評価の時に、また確認をさせていただきたいんですけど。
0:51:39	だから結局、包括されます包絡されますという表現を少し直していただければということになるのかもしれないですね。はい。
0:51:49	お願いします。中国電力の石飛副博士あたりですけど、科学的な説明が必要になってくるので、基本的にですねその部材厚、
0:52:00	スパーン
0:52:01	と都立取りついている部材を、部材のですね厚さ、いわゆるあれですよ。結合度、あとその当然配筋等がすべて一緒に、戸松。
0:52:11	藤。
0:52:12	とかですねそれ比較した上で、
0:52:15	基本的には包絡できるといった、ちゃんとそういった資料は必要です。
0:52:21	言ってる意味わかりますか。その検討省略するならするだけの、その科学的または、
0:52:27	その効率性を持った説明が必要なんで、相場感だけで話していると、基本的な適合性の判断してないってことになるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:36	いわゆる機能を、安全機能を損なわないことに関する、審査をしていないことになるので、それはちゃんときちっとしたせ、説明を、
0:52:47	合理的なデータに基づいて説明ください。
0:52:51	はい。中国電力のヨシツグでございます。もう一度整理したいと思います。以上です。
0:52:57	はい。規制庁の三浦ですけど、今皆さん言われてる通りだと思うんだけど、
0:53:02	基本的には、ある構造物に対しては、必ず、
0:53:07	何かしらのチェックをするっていうことですよ。だから、四つの構造物があってその中で一つ代表させるなんてことは多分ない。
0:53:15	それはまずいですよね。
0:53:17	一つの構造物の中で、クリティカルなもの。
0:53:21	これを、今言ったエザキ等が言ってる条件設定の中で明らかにやっぱこれがクリティカルだと、それについては、1個チェックをしますと。
0:53:29	その他のものに関してはそれにエンベロップされますっていうストーリーをきちっと組んでいただけるとのことですよ。
0:53:37	はい。中国電力のヨシツグでございます。構造等がそれぞれ違いますので、各構造物でそれを整理してそれでご説明をしたいと思います。以上です。はい、わかりました。ちょっと私気になったのはあんまりこう、
0:53:49	すべての部位をチェックすると、建屋の方と建築の方とやり方が異なってしまうので、建築の方のチェックは、今言われたように各建屋別の中で、クリップが、
0:53:59	ものを抽出してやって、その抽出したつもりに対してチェックをするってやり方をしていますんで、それも、事業者内でよく調整をしておいてください。
0:54:10	はい。中国電力の吉富です。承知いたしました。
0:54:18	中国電力です。念のための確認ちょっと私の理解が悪かったところもあるので確認したいんですけども、箱型構造物の弱軸について、とそ
0:54:28	こういった箱型構造物であれば側壁や底盤や長伴。
0:54:31	を調査している一方で、妻壁であったり、教授方向にある側壁についての調査、面外方向の調査ができてないというところが今のところだと思ってます。
0:54:40	なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:41	そういった部材について、強軸方向の断面を使って側壁谷津真壁の調査を、追加を実施するもしくはそれらをしなくてもいい理由を科学的にきちんと整理する。
0:54:52	という理解でよろしいでしょうか。
0:54:54	規制庁のハツリですはい。そうです。その通りだと思います。
0:54:58	多分、
0:55:01	うん。その通りですねたんで、ちょっとこだわってるのは、包絡されるからやらないよみたいな記載が少し、何かこうなんかやんなくていいんですみたいな何でもかんでも包絡されるんですという、
0:55:14	ふうにされると嫌だなというところで、その記載の適正化をしてくださいというのが、発言の趣旨になります。
0:55:22	はい。中国電力です。内容承知しました。今のいただいたコメントを踏まえて検討させていただきます。以上です。市長の服部です。ちょっと関連してもう1点だけちょっと確認させていただきたいんですけど。
0:55:41	ベントフィルタ格納槽とか、こちらのCC断面の扱いなんですけど、
0:55:46	例えば29ページだ等、
0:55:49	の表だと、AB駄目の方で代表させますというふうに書いてありますね。さっき、
0:55:59	緊急時地下対策の方は何か教授の方もやりますということを書いたと。
0:56:05	いうことだと思うんですけど。
0:56:06	一方この136ページの方を見ると、
0:56:12	CC断面についても、影響評価検討ケースとしては影響評価ケースになるんですかね、補足に書きますって書いてあるので、
0:56:22	中谷。
0:56:24	なんか、一応断面を切ってやるみたいなあ。
0:56:28	ことが書かれてるんですが、
0:56:31	この29ページの表というのは、基本的には、
0:56:35	基本ケースと不確かさケースのことだけを書いているので、
0:56:41	この影響検討係数についてはこの中に入ってこないような
0:56:47	表現ぶりになっているということなんでしょうか。
0:56:50	逆に言うと、
0:56:52	緊急対策所の方は、
0:56:55	助教塾も影響検討ケースではなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:59	何だろう、不確かさケースなのか基本ケースなのか、そちらの方に入ってくるという理解になるのでしょうか。
0:57:11	はい、中国電力の吉本です。
0:57:14	衛藤。まず、緊急時対策集燃料地下タンクについてですけれども、衛藤。
0:57:21	教授方向断面としてましたBB断面、
0:57:23	についても、A断面と同じケース数ですね、評価を実施することにしております。
0:57:32	衛藤ちょっと第1ベントフィルタ格納槽については、
0:57:37	説明がされてないところがありましたので補足でちょっとご説明させていただきますと、
0:57:42	今回、
0:57:47	江藤資料02-130。
0:57:50	1ページになりますけれども、
0:57:57	衛藤。
0:57:59	周辺の状況見直したというご説明さしていただきました。
0:58:03	衛藤。この断面については、片側が隣接構造物。
0:58:10	もう片側が、
0:58:11	空洞と、
0:58:13	いう形になっております。で、それに対して133ページ。
0:58:17	になりますけれども、
0:58:21	第1ベントフィルタ格納槽、
0:58:24	#NAME?
0:58:34	こちらについては、
0:58:36	弱軸と布教塾で、周辺状況が異なると。
0:58:41	なので先ほどの緊対、緊急時対策所燃料地下タンク等と同様の御説明にはなるんですけれども、
0:58:47	衛藤。
0:58:50	資料飛びまして、
0:58:59	参考資料6になりますので257ページをお願いします。
0:59:13	257ページの絵を見ていただければと思うんですけれども、
0:59:18	こちら、掘削完了前をやることにしておりますので、
0:59:24	先ほどと先ほどの弱軸方向断面の方が埋め戻しどのパターンについてもやると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:31	ということになります。なのでこの評価を実施することで、先ほどのCC断面の方の、
0:59:37	側壁の評価からの評価は不要というふうな説明としております。はい。以上です。
0:59:46	あ、ごめんなさい、規制庁のハットリすみませんごめんなさいちょっと意味が私はちょっとわからなかったわかった人もいるんですけどちょっと確認ですけど。
0:59:55	先ほどの教授方向の妻壁の面外をやるかやらないかという話からは少し、
1:00:02	もう頭を切り換えていただいて、確認なんですけど、
1:00:07	このCC断面今の説明だとCC断面というのは、
1:00:13	27 ページのこのさらにのところに当たるので、
1:00:19	やります。
1:00:21	評価をしますということでよろしいんですよねまず。
1:00:28	はい、中国電力の吉本です。条件が違うので、評価はいたします。しますが、29 ページの、
1:00:36	ちゅ注記の*の4番。
1:00:40	に書いておりますように、CC断面は弱軸方向断面と異なり西側に運用指導部が分布しているが、周囲に埋め戻し度が分布する場合の弱軸方向断面の評価を、
1:00:53	実施すると、という方針を記載させていただいております。
1:00:57	それが先ほどご説明した、
1:01:00	衛藤。
1:01:02	掘削前の、弱軸で、南側に土があるパターンの評価を実施するというご説明でした。
1:01:10	規制庁の服部です。CC断面の、
1:01:15	掘削してある状態の評価は、
1:01:21	AA断面の掘削してない状態の評価に包絡されますよって言ってるんですか。
1:01:28	すいません少しわかりにくいのは、
1:01:32	そのA断面というのは、片側2本本当に剛性の極めて高い原子炉建物があって、
1:01:39	これはおそらくその隣接構造物の日、モデル化の方針では、
1:01:45	モデル化することになるので、
1:01:49	ちょっとよく結果わからないんですけど、例えばそのどかんとした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:53	大きなものがいれば、
1:01:55	横にある弁塗装は、ほとんど揺れないというか、逆に力を受けて入れちゃうのかもしれないんですけど、というようなイメージもあって、
1:02:06	一方で、CC断面というのは、代替注水ポンプ格納槽ぐらいなので、そのレベルが全く違うので、
1:02:18	何かこう、
1:02:19	同じにしてもいいのかなあどうなのかなというのを少し疑問に
1:02:24	なったんですね。
1:02:25	なので、そういうのがちょっと頭にあつたんで、ちょっと今の話が理解できなかったんですけど。
1:02:31	今の話というのは、さっき言ったようにCC断面の、
1:02:36	掘削してある条件というのは、AA断面の掘削しない条件に包絡されるという説明だったということによろしいのでしょうか。
1:02:49	中国電力の石本です。少々お待ちください。
1:04:47	はい。中国電力の吉本です。
1:04:51	今、羽鳥さんおっしゃられたように、CC断面につきましては、BB断面と比較して、周辺状況違いますので、そちらの評価方針について改めて整理してご説明いたします。以上です。
1:05:04	規制庁の服部ですはいもう1回ちょっと確認すみません136ページを見ると、
1:05:10	CC断面を評価します、実施しますっていうふうに読めるので、
1:05:16	先ほどの説明であれば同じような包絡包絡されるかどうかちょっとわかんないんですけど、同等の評価になるということであれば、そっちの記載を適正化してもらおうかなと思ったんですけど。
1:05:29	もう1回ちょっと考えていただいて、ちょっと再度説明していただければと思いますので、よろしいでしょうかどうぞ。
1:05:37	中部電力の吉本です。はい、承知しました。
1:05:42	規制庁のハツリですはい私からは以上ですが57番についてはいかがですかよろしいですか。
1:05:49	はい。では、今、51番と57番ですかね、51番については適正化。
1:05:58	の方で対応していただくということで了したいと思います。
1:06:02	57番については当間良としますんでよろしく願います。
1:06:08	では次願います。
1:06:13	はい、中国電力の吉本です。それでは資料①の、
1:06:18	6ページ目をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:26	コメント回答こちら最後になりますが、No.58。
1:06:29	E断面と、取水槽本体の間に施工ジョイントがあることを説明するとともに、適切な3次元解析モデルとなっていることを説明すること。
1:06:39	こちらについて、資料②の244ページからご説明します。
1:06:59	244ページから、新たに参考資料3としまして取水槽の3次元モデル化範囲についてという資料を追加させていただいております。
1:07:07	こちら、ざっくりご説明させていただきますと、1発概要の2パラグラフ名ですが、
1:07:14	本資料では、取水槽の3次元構造解析モデル化範囲に、
1:07:18	全カクダクトも含めないことの妥当性について確認すると。
1:07:22	いうふうに記載しております。
1:07:23	次のページをお願いします。
1:07:30	2ポツ、取水槽本体と全カクダクト部の接続状況について。
1:07:34	2行目の中ほどからですが、取水槽本体は現場施工、全カクダクト部は別箇所にて製作し、現場に運搬を据えつけられたもので、施工ジョイントがあり、止水を目的とした継ぎ手工が行われております。
1:07:49	継手部は一次止水処理として、ゴムガスケット、
1:07:52	二次止水処理として、M型ジョイントによる止水を行っております。
1:07:57	で、不同沈下や地震時のずれをずれ防止を目的とした、slip場を配置し、止水機能補助を目的として二次コンクリートの打設をしております。
1:08:07	ですので、取水槽本体と全カクダクト分は、資金が連続しておらず、一体化していないことを確認しております。
1:08:15	次のページをお願いします。
1:08:19	3ポツ、3次元構造解析モデルにおける全額附属の扱いについて、こちら結論ですけれども、取水槽本体と全カクダクトは一体化していないことから、3次元構造解析モデルにおいて、全カクダクトを対象としない。
1:08:33	ことの妥当性を確認した。以上となります。
1:08:37	なおですねこの参考資料3において、すと0。
1:08:41	んなど。それなエリアの、
1:08:44	何の後、伸ばすような表記になってますけれどもこちらストレナ度ストレナで衛藤止めるのが、ちょっと正式名称ですので修正をさせていただきます。
1:08:53	はい。説明は以上になります。
1:08:55	規制庁の服部です。それでは、コメントNo.58番について確認する点があればお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:02	エザキですけども、どうコメント出した方がいいんですけど、245 ページの図 2-1 の両括弧 1 のところに、いわゆるこの、
1:09:13	施工ジョイント場所ですね、示してるんですが丸じゃなくて線で示して欲しいんですが、
1:09:18	ほぼほぼですねこの全角ダクト部、
1:09:23	延長 9 メーターのうちの半分ぐらいまでは、のところに 1 点ですね私もっと、逆に言うと、
1:09:31	全カクウ獲得にはある程度入り込んではいらっしゃるでしょうけど、
1:09:37	たかだか数十センチ、
1:09:40	全学部に入ったところで縁切りされてるのかなと思ったんですけどじゃなさそうですね。
1:09:46	何ちょっとここ書いてあるロジックはちょっと成立しないと思います。
1:09:52	もう少しですね
1:09:56	基本的に行った時に、ここがあることによって、今、保全各部を省略している状態が安全側になるっていうことなんですか説明が必要で、
1:10:08	多分、
1:10:09	私が行って推論してるのは多分、基本的には全学部って、
1:10:15	同時に除菌エリアと境界線から大体 4.5 メーターか 4 メーターぐらい入ったところで縁切りされてるんですよ。
1:10:24	なので、その部分って、本来であればモデル化せざるをえないと思うんですよ。
1:10:29	ただ、
1:10:32	それをモデル化しないことが安全側になるっていうことであれば、
1:10:36	その説明は省略できるということと、あと各全カクダクト部って設計省略も、今回の評価対象からも外れてるんじゃないかと思うんですが、
1:10:48	それも含めて、1 回整理した方がいいと思うんですけど、いかがですか。多分ですね。
1:10:57	ここが
1:11:01	要は、全学部がある程度、その十河生があること、またはその出っ張ってることによって荷重を受けていることが、
1:11:11	多分除じんエリアのこの辺の部分。
1:11:14	境界線でそんな部位ですよこれは何らかのどのような影響を与えるんですかということで、
1:11:20	説明を。
1:11:23	していく必要があると思うんですがいかがですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:32	はい、中国電力イワコケです。
1:11:34	まず、
1:11:36	いただいた確認事項のうち、先方についてなんですけれども、全額落東部との施工ジョイントにつきましては、
1:11:45	除じん機エリアから、確かに言われる通り、ある程度離れたところにあります、ちょっと正確な数、数字がすぐ図面ですいません出てこないんですけれども、
1:11:54	約3メートルぐらい離れた位置にあるというのが実態でございます。
1:12:00	で、全カクダクト部の評価については確かに、取水槽の断面選定のところで、選定断面として選定しないということで記載をしておりますけれども、
1:12:11	その内容につきましては、取水槽の本体と、
1:12:14	概ね同等の部材厚で小さな行くに対して取水槽本体と同等以上の配筋が配置されているといったことから
1:12:23	この断面については、断面選定不要、取水槽の本体の方での評価に、
1:12:29	もって健全性が説明できると考えて、記載をできており、
1:12:35	選定しない方針として記載をさせていただいております。
1:12:42	規制庁の江寄ですから、その時から多分話変わるんじゃない。
1:12:47	いわゆる、そのときどういった断面だったかとは覚えてないけど、
1:12:51	大抵があればよねこれ9メートルあるっていう前提の中で、
1:12:56	全国行ってんじゃない。
1:12:59	仙頭の方の、
1:13:01	5メートル。
1:13:03	そこまでが全額無難じゃない。
1:13:08	違うかな。
1:13:09	中国に分割してんだから、
1:13:15	いわゆる、
1:13:16	施工上とかあるわけですよ。だから、水槽のっていう命名はしてはいるものの、構造としては切り離されてるんだよね。
1:13:26	全学部の添9メートルのうち、
1:13:30	右側の方の5メートルは、
1:13:34	主水路みたいな状態なってるわけでしょ。水道全角みたいな感じになってんだよね。
1:13:40	はい中国電力です。おっしゃる通りの構造になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:44	だから、もうちょっとそこはちょっと整理した方がよくて、9メートル、9メートルってということじゃなくてまずは、
1:13:51	基本的にはまず5メートルのところとその3、55メートル、6メートルか6メートルのところと3メートルと切り分けて話をしなきゃいけないんじゃないやつは、
1:14:04	整理として、
1:14:05	はい。中国電力イワコケです。確かに江崎さんおっしゃられる通りで我々が話をしていた全カクダクト分は、
1:14:11	海、
1:14:13	北側の方ですね、に話された6メートルのところの話をしておりまして、取水槽本体と一体化している方の3メートルの方につきましての、
1:14:20	検討についての記載ができておりませんでしたので、こちらをどのように評価するかはですねちょっと持ち帰り検討してまた別途ご説明、ご説明させていただきます。以上です。それでね、それでね。
1:14:31	前、前回言ったの覚えてられますかっていう話で、すでにこの3メートルの、これ今回水槽の話だけなんで、
1:14:39	海側の方の5メートルは、16メートルの部分は、ちょっと除外して話しますけどその3メートル区間のところで、いわゆるこういったものがあると、その開口部の部分。
1:14:52	いわゆる開口部競売みたいな、要は、立坑のほ補強張りみたいな、強く作りますよねかなり
1:15:01	桐原オカ氏がつけられないとかいろんな問題があったときとかそういう、土木的に言えばそういった問題があると思うんですが基本的にそういった工数の高いものをつけると。
1:15:11	基本的にないとした場合よりも、いわゆるそこに、
1:15:18	やらなくなった部分、いわゆるその上が情報上側の方のですね妻壁のところとかが暴力集中しませんかといった話をしています。
1:15:29	いわゆる、
1:15:31	部材がないことによって、単純にそちらの方は、設計的に、そこを省略することで安全側になってますとは言っているけども、
1:15:42	基本的には、逆に言うと
1:15:45	応力集中、
1:15:49	起きてる場合もあるので、その確認はしなくていいのかということ言ってる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:55	それとともに、そのときは私はその3メートルも出っ張ってると思っていないので1メートルも出っ張ってると思っていなかったんで、多分こういう構造だったら、
1:16:05	もっとうこう除じんエリアの、
1:16:08	かなりですね、近いところで縁切りされてるんだらうなっていう推測で言っていたんですが、だから基本的に、
1:16:15	今言った話に加えてですね、また常時、
1:16:22	全角分。
1:16:23	ただ、速報とか、上方向から地震力比べますよねそれが、基本的には個人エリアの方で、の部分と、部位に接合してますからそうすると、
1:16:33	モーメントにしちゃって、同士で接合部で、
1:16:37	登録伝播されちゃうんで、基本的に、
1:16:43	より応力が大きくなる可能性はあり得るんですよ。
1:16:48	そういった観点、2点の観点、いわゆる部材が新たに、他についてることによって、
1:16:55	どのような設計の、設計としての影響があって、どのようにフロア設計として配慮しなきゃいけないのか、そういう方観点で、ちょっとここ整理して欲しいんですよ。
1:17:05	多分そちらとしては、
1:17:08	この全角分のところに断熱後で来ないですけど、確かあれですよ、ほとんど岩盤に動くとかMMRに
1:17:19	戻されてるとか埋め込まれていて、
1:17:22	あと、全学部の両サイドのところも全部、
1:17:28	確か、地盤改良されているんですよだからあまり戸松はかからないって信じも、そう言ったこともあるので、
1:17:37	今言ったような観点で、どういう設計の配慮をすればいいのか、それによって、
1:17:44	そこの部分を省略した方が安全側として、考えることができ、できるのかどうか、そういったことですね、今見たような話で、論理的にちょっと
1:17:55	頭、うん。
1:17:57	根拠をですね、整理して、組み立てですね、もしこれが、不要としていきたいのであればこの部位をですね、不要不要とした方が、設計的に耐震上の耐震設計上安全側だっていう、
1:18:11	説明をして欲しいんですけど、よろしいでしょうか。
1:18:17	はい。中国電力横江です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:19	まず、全カクダクト部の構造。確かに湯田エザキさんの言われる通りでして、
1:18:24	資料化しておりますのでそのページをご案内します。6 ページに、
1:18:29	示しております図 4-4-6、E断面、こちらが全角ダクト部の、
1:18:35	断面図になっております。
1:18:39	61 万 606061 ページ、61 ページですいません。
1:18:44	このE断面です。ダクトの中心より少し高いところまでMMR埋戻しコンクリートでコンクリートが打設されておまして、その上部が改良地盤、
1:18:55	で、覆われているといったことで先ほど確かに江崎さんが言われた通りかなり剛な構造なってる断面でございます。
1:19:02	岡課長が多分小さい。
1:19:05	駄目なんだよね。そうですね。家中学院、
1:19:09	はい。ですので、確かにこれがあることによる、取水槽本体への影響っていうのを確認しないということでコメントの趣旨は理解できました。ここからちょっと念のための確認なんですけれども、
1:19:21	全額ダクト部、かなり剛なものが横にくっつくことによって、取水槽本体の特に除じん機エリア、
1:19:28	の接合部、
1:19:30	に応力集中するんじゃないかという確認、また、個人経営のトップは、これ接合部じゃなくてね、接合部に取っついた取っついた方の部位ですよ
1:19:42	ね。
1:19:42	だから、
1:19:43	例えばね、3.5 底盤いっぺん自由だったところが、ある意味、4.5 点に近い。
1:19:50	自由度があって、今一辺がフリーだったところが変わると。
1:19:57	結局どうなるんですかっていう話で、
1:20:01	中国電力イワコケです。
1:20:04	ということは、前角田区東部と書いてあるうち取水槽本体に取りついている 3 メーター分のところの、
1:20:12	調査といったことでよろしいでしょうか。そうですねそうするとその中で熱真壁結局妻壁の影響って話になると思うから。
1:20:22	はい。それに加えてさらに前カクダクト分があることによる条理除じん機エリアの側壁であったり、導入ウエキとかそういったところへの影響もあるんじゃないかとそうそういった 2 点、そういうことで、計算しろって言うてるわけじゃなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:35	どういう影響があるかってことで、仮に、
1:20:40	かなり理想化した、
1:20:43	評価簡単な評価でも構わないですけどね。それがはっきり説明ができれば、
1:20:51	拝見証明もある程度説明できるものであれば、
1:20:56	はい中国電力イワコケです。検討の内容を理解できましたので、全国ダクト部の自主水道本体と一体化されている部分による、
1:21:04	その一体化されている部分の評価、及び受賞人件費及ぼす影響、コメントとしてはさ、全学部ダクトとんと人きエリアの創設。
1:21:17	接合の各部、相互の部位のを、
1:21:20	総合影響について、
1:21:23	確認した上で、
1:21:25	全額、
1:21:28	獲得と接合部の部分を省略可能とした。
1:21:32	ことの妥当性を説明することそういうコメントなんでしょうね。
1:21:37	はい。中国電力和気です。コメントの内容を承知しました。今いただいたコメントを踏まえて検討させていただきます。カワズ模型計算はいらないかもしれないし、どこまでやればちゃんと誰でもわかるような、
1:21:49	ロジックを組めるのか、論拠ができるのか、よくその辺は考えていただいて、もしそのんとこで定性的って言ったときにちょっと弱いなと思ったら、
1:21:59	多少なりとも計算、どういう計算、有限要素とは限らないので、締結されるかもしれませんし、その辺も含めてですね、何らかそういったか。
1:22:09	ある程度、
1:22:11	誰でも理解できるような状況を組み立ててください。以上です。
1:22:16	はい、中国電力イワコケです。確かに定性的にだけで説明をして納得のいく説明をするのは難しいかなと思いますので、何らかの影響検討してですね定量的な検討結果も含めて、
1:22:28	説明できるように検討を進めさせていただきます。以上です。
1:22:32	よろしくお願いします。
1:22:35	規制庁の服部です。他あればお願いします。
1:22:39	私から関連して、
1:22:42	1点だけ確認したいと思うんですけど。
1:22:44	今、エザキの方は取水槽と接続してる全カクダクト分の
1:22:50	ことについて話してましたけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:52	切り離されてる全カクダクト分も、
1:22:56	これは屋外重要土木構造物つうの。
1:23:00	一部だということによろしいんですよね。
1:23:05	はい、中国電力イワコケです。取水槽の一部、つまり屋外重要土木構造物の一部という扱いになります。
1:23:13	規制庁の服部です。であれば本来は、何らかの評価をするのが、せえっと、正式普通のやり方なんですけども、
1:23:23	今の説明だと、どこかに何らかの方法で本体の方に包絡されるからという説明だったと思うんですけど、それはどこに書いてあるんですか。
1:23:43	はい。中国電力の吉本です。
1:23:46	江藤先ほどの全カクダクト部の海側の方ですね、部分が評価、
1:23:53	対象断面としてどのような考え方かというところにつきまして、63 ページ、お願いします。
1:24:05	63 ページの文書の 2 パラグラフ目。
1:24:10	になりますけれども、
1:24:12	また、前角田太分については、弱軸方向であるが、他断面と比較して、範囲が限定的であり、部材が少ない区が小さいことに加えて、機器配管系も支持していない。
1:24:24	ので、評価対象断面として選定しないという旨の記載をしております。以上です。
1:24:31	規制庁の服部ですはいここだと思ってるんですけども、
1:24:35	先ほどもあったんですけども、本来、検討しなきゃいけない断面ニイツ、部材について、省略する場合は、
1:24:44	一応その省略できるという、きちとした根拠を示さナイトウ、やっぱ駄目だと思うんですよね。これ三行D終わらせるというのはちょっと余りにも稚拙だなあと思います。
1:24:56	さっきも話があったように、部材厚だとか鉄筋量がどれぐらいあま的には同じぐらいだと言っていましたよね。だからそういうところも含めて、どうして省略できるのかというのをきちっと説明しないと、省略できないかなと思いますので、
1:25:13	そこら辺の資料は拡充していただきたいなと思います。
1:25:16	確かに先ほどの断面を見ると、まるっと、地盤改良が岩盤で囲まれちゃってますし、ほとんど、
1:25:26	荷重持ち、主訴の本体に比べれば、その外側に
1:25:30	出訴本体はその総会に埋め戻し度があるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:34	かなりこうなんだろう。
1:25:39	あんまり、あんまり
1:25:41	応力が出ないような構造になってることがわかりますのでそういう荷重とかその地盤関係の状態も含めて、安全側だよという説明も結構ですし、
1:25:52	そういうのも含めて、何らかもう少しちょっと充実したような形で省略する根拠を説明していただきたいと考えていますが、いかがでしょうか。
1:26:03	はい。中国電力の吉本です。ご指摘の趣旨、理解しました。先ほどの、
1:26:10	箱型構造物の協力方向の側壁の部分と同様に本来、
1:26:15	評価すべきところを省略する包絡させる場合はもう少し、記載の充実化を図ろうと思います。以上です。
1:26:23	規制庁のハツリですはいわかりましたよろしく申し上げます。他あれば申し上げます。
1:26:29	よろしいですか。では引き続き説明の方申し上げます。
1:26:37	はい。中国電力の吉本です。衛藤コメント回答につきましては、今のNo. 58 で以上となります。
1:26:46	規制庁の服部です適正化について何か説明するところがあれば申し上げます。
1:26:53	中国電力の吉元です。土岐生家リストの中でとりわけ説明する事項はないと考えております。以上です。規制庁のハツリですはいわかりました。それでは、
1:27:05	屋外重要土木構造物の耐震安全性評価の資料全体に対して確認する点がある方申し上げます。
1:27:27	規制庁のハツリ津はいすいません 2 の資料について確認する点がある方申し上げます。
1:27:40	規制庁の三浦です。
1:27:43	ちょっと教えてください。②の資料の、
1:27:47	140 ページと 141 ページ。
1:27:53	これ前に少し議論があったかもしれないんですが、これ、町歩にコウペンたすてきなものがありますよね。
1:28:01	これって解析モデルにモデル化されるんですか。
1:28:09	はい、中国電力の吉本です。この実際には地上から飛び出しているペントハウスのような部分についてもモデル化し評価を実施するつもりです以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:20	はい。規制庁の上田です。これちょっとペントハウス数の平面数がないんで、どういう形状してるかわからないんですが、
1:28:27	141 ページの下の図の、
1:28:31	二つ貢献たんすが重なってるようになってますよね。
1:28:34	これは、
1:28:36	平面的に見てもこういう形状になっているんですか。
1:28:40	ちょっと奇異な感じがするのは、
1:28:42	同じようなペントハウスがくっついて、2 国過ぎてるってのはちょっと奇異な感じがするんですが、ちょっと形状そのものはわからない、明確にお答えでき
1:28:50	明確に、ちょっとどういう形をしていてなぜこういうモデル化になってるかっていうのを教えていただけますか。
1:28:59	はい、中国電力の吉本です。
1:29:01	江藤。こちらの部分、上から見た図がありませんので平面的な状況がわかるようなものはつけさせていただこうと思います。で、多分違和感があるとおっしゃられたのは、衛藤。
1:29:13	部材を共有しているんじゃないくて
1:29:17	並んでいるのに、と分かれている部分かなと思いますが、こちら、施工上、後から追設した部分があるので分かれているものになります。ちょっとその辺がわかるように、また図面追加させていただこうと思います。
1:29:30	はい規制庁の目立つ 141 ページの上にある、あ、ごめんなさい、数にある二つのペントハウスっていうのは、
1:29:38	高沢は違うんだけど平面的には同じ大きさなんですか。
1:29:49	を、
1:29:50	はい。中国電力の吉本です。その辺も確認して次回以降、資料つけさせていただきます。よろしく願います。願います。平面的にどういう形なのかってことこれ 2 時間でも努力しますよね。
1:30:03	そうずっと 5 以下方向の長さが違ってくれば当然考え方も違ってくるし、
1:30:07	あと、後でこれ造成するしてるんだけど、増設されたっていう答えになってるんですけど、これ、シーベルトで行ったんか、一体化されてるんですか。
1:30:16	とかね、ちょっとその辺のところを、整理して教えてください。はい。中国電力の吉住でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:24	後でと言ったんですけれども、施工は一体でやっております当初計画と、途中で変わったので、追加になったというのが正直なところでございます。それと、
1:30:37	あとは、コウゲ的に
1:30:41	この面でいくと、奥行き方向が少し違うものになっております。そういったところをまた平面図と断面図等でご説明させていただきたいと思っております。以上です。
1:30:52	はい。それで結構です。私から以上です。
1:30:57	すいません、江崎ですけども、
1:31:00	表現かについてちょっと確認なのですが、15 ページお願いします。
1:31:09	15 ページのですね、2.5 の社員遮へい機能、これは 2.1 の支持機能の終局限界を目標とするってしてるんですけど、
1:31:20	ちょっと一部違和感があつてですね、それ何が考えるかっていう 14 ページの、
1:31:26	うん。
1:31:27	と注記で書いてある。
1:31:30	圧縮縁コンクリートひずみ 1%。
1:31:33	という話なのですが、
1:31:35	これってちょっと近江すぎじゃないのっていう話です。
1:31:39	例えば、
1:31:41	遮へい機能とかいったことで考えたときにRCCV建設規格とかは、多分これ、
1:31:47	圧縮、
1:31:49	限界ひずみが 0.3%で抑えてると思うんですよ。
1:31:53	そうした煙突されたものに比べて、ちょっと拡大にするのであれば、かなり
1:32:01	その妥当性って、我々として審査しないといけないですよ。
1:32:05	立場上ね。
1:32:07	それから考えたときに、これって、
1:32:10	他のものは別として集合限界っていう話でいいと思うんですが限界ひずみを、この 1%、
1:32:17	いわゆるかぶれ航空とか剥落する。
1:32:20	いわゆる最大の、要は部材としてですね最大化威力を変えてそれがぐっと下に落ちるような、体力低下を起こすようなところまでっていうのはやり過ぎかなと思ってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:32	多分、計算値とですね、0.3%なんて行かなくて0.2%にもいってないじゃないかと思うんですよね。
1:32:41	構造物からすれば、それからすれば別にこれは1%にこだわる必要ないのかなと。
1:32:48	遮へい機能に関してはね、
1:32:51	そう思うんですが、いかがでしょうか。
1:33:03	はい。中国電力の吉本です。
1:33:05	衛藤。
1:33:08	今遮へい機能につきまして、中央制御室等では建築は評価で、耐震壁の面内、
1:33:18	ひずみとして2000マイクロという評価でやってると思います。で、それが土木というところの終局評価ということで、今、我々の考えでは圧縮縁コンクリート限界ひずみ1%と記載させていただいて、
1:33:33	ちょっと僕ちょっと勉強して欲しいんだけどRCCVのさ建設規格でやらないってのは面内、面内方向の話で私ってのは面外方向の話をしてんだよね。面が限界で言ってる。
1:33:43	下宿曲げモーメントと軸力の世界の話をしていて、
1:33:48	そういったときに、RCCVまでなんて書いてあんですかって、0.3%でだから、RCCVを作っている、を使うを、を申請している。
1:34:00	柏崎なんかは、これを参照してるはずなんですよね。
1:34:04	そういったものはもう、
1:34:05	我々の世界をエンドースしてんですよね、技術的に。それを実際に工認実績もあって、今回の適合性審査の中でも、適合性を、
1:34:16	認可されているんですよ。そういったものを利用した方が、説明は簡単じゃないですかって私は言ってるのはわかる。自分で考えたものは、
1:34:25	こういったもので、それを採用してくださいっていうんだったら、もう一度エンドースしてからで断をしてくださいということになるんですがいかがですか。
1:34:34	はい。中国電力の吉本です。今のご趣旨、理解しました。
1:34:39	衛藤。
1:34:41	実際、さっきおっしゃられたように下の方で、これがひずみが区域間なることはないと考えておりますので、RCCVの方の比較参照させていただいて、記載のほうを改めたいと思います。以上です。
1:34:55	後で一つ言ってるけどさっき面内センターの建築の方の2000マイクロっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:00	いわゆる終局が 4000 マイクロであって、それ我々の
1:35:06	基準規則に書いてある連携制度に関しては、十分な安全余裕ということで、
1:35:11	2 倍の安全余裕ということで 2 分の 1 にして、
1:35:14	使ってるんですよ。そういったことを踏まえてるからちょっとさっきこの文章としては別に問題はないんだけど、
1:35:21	こう理解としてはちょっとそれは理解不足だと思います以上です。
1:35:28	はい。中部電力の吉本です。はいちょっと褶曲ということで同率のような形でカーさせていただいておりますが、もうちょっと中身の方、理解してし、記載のほうを修正したいと思います。以上です。
1:35:43	規制庁の服部です。他あればお願いします。
1:35:53	規制庁大橋です。同じく、
1:35:57	14 ページのところなんですけど、
1:36:01	評価基準値の話が今ありましたんで、支持性能のところ、
1:36:06	14 ページの 4 ページの 4 行目のところには、
1:36:11	申請に対して終局限界にするけれども、
1:36:15	機器配管系から与条件があれば、別途検討するっていう具合に方針が出てまして、
1:36:22	後半の方取水槽に関しては、アンカーについては、ちょっと触れてるんですけども、
1:36:28	取水槽には
1:36:30	補機冷却海水ポンプがあって、
1:36:33	低ポンプの場合は、
1:36:35	回転軸とかがあるので、
1:36:37	物によっては、
1:36:39	へえ。
1:36:40	傾斜があったりすると、
1:36:43	与条件としてそれが出てくる場合があるんですがその確認についてお願いします。
1:37:07	中国電力ヨシモト少々お待ちください。
1:37:16	中国電力の吉本です。本社側で、機器側の、
1:37:20	江藤方、
1:37:22	コメントありますでしょうか。よろしくお願いします。
1:37:27	中国電力の岩元です。ご質問にと確認したいのですが、申しわけありませんと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:33	傾斜がついているというのは、その設置されている土木構造物に傾斜がついていて、
1:37:40	その傾斜に関する影響を考慮できているかといった、そういったご趣旨の、
1:37:44	質問でしょうか。確認させてください。
1:37:48	規制庁大橋です。そのようなことではあるんですが、簡単に言えば、ポンプの機器側からとしての、
1:37:57	傾斜の与条件っていうのがあるかどうかっていうことで回答していただければいいかと思えます以上です。
1:38:07	中国電力の湯本です。もちろんポンプ自体にはその家、こういったところを設置しないとイケないといったような設備側の要求事項があると考えています。ただ
1:38:19	本日その設備として井手小貫等の経営者であれば、大丈夫だといったような説明を今ちよっと言い切る情報自体は持ち合わせておりませんので、はい。
1:38:30	どういう、どういう傾斜であれば許容できるという設計になっていてそれに対して実際の傾斜がどうだということを、ご説明させていただければ、今のご指摘に対する質問あるかと考えておりますが、いかがでしょうか。以上です。
1:38:47	そのようにお願いいたします。以上です。
1:38:58	規制庁のハツリです他あればお願いします。
1:39:02	では私から1点だけ申し上げます。中国電力の米津です先ほどの質問については、一つ意図を確認させていただきたいんですけども通常運転、
1:39:12	その時に、まずそういう傾斜のある部分について、ついでとどきどれぐらいの傾斜が許容されているかというそういう観点での質問であったと認識してよろしいでしょうか、確認させてください。以上です。
1:39:35	土木構造物の評価する時に地震時で評価してますので、その時に、
1:39:40	どれぐらい濃厚構造部材に対しての変形が出るかっていうものが出てくると思いますので、
1:39:48	通常時というよりは、地震時で、検討していただければ結構です。以上です。
1:39:57	中国電力の4.3の承知ました。土木構造物側の変形に対して機能維持できるかどうかという観点での沿い、そこを心配してのご指摘と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:10	いうふうに理解しました。こちらについてはポンプ側の方のヒアリング等も今後実施ということになりますのでそちらの中で説明させていただければというふうに、
1:40:20	考えております。以上です。
1:40:23	規制庁大橋ですよろしくお願いします。
1:40:30	規制庁の服部です。では私から最後に1点だけ確認させてください。
1:40:35	先ほど江崎の方からも少しあったんですけども、
1:40:41	どれだったっけ。
1:40:43	36 ページですね。
1:40:49	浄化槽、今回、埋め戻し度で評価するということなんですけれども、
1:40:57	隣接校、
1:41:00	このまず浄化槽っていうのがどういうものなんかがよくわからないんですよね。
1:41:04	コンクリートでできてるのか、それとも構成なのか、それとも塩ビなのかっていうのがよくわからないんでちょっとそこら辺は、ちょっとグレーなところがあってわからないんですけど。
1:41:17	確認したいのは、隣接構造物を埋め戻し度として評価する。
1:41:24	とする理屈というか、ストーリーがありますよねフローチャートを今回、
1:41:30	あれしてもらいましたけども、
1:41:33	それに、
1:41:36	整合してるんですかどうかっていうのを確認したいんです。だから結局はどういうものでできてるかっていうことにもなるんですが、例えば210ページのところに、隣接構造物括弧候補という、
1:41:48	のがあって条件。
1:41:51	みたいなものがあるって、
1:41:53	それー。
1:41:55	このなんだろう、浄化槽が満たしてるのかどうかよくわからないんですが、
1:42:00	ここら辺は、このストーリーにきちっと載ってるんでしょうか。どうぞ。
1:42:09	はい、中国電力の吉本です。衛藤。
1:42:12	そして今の断面図の中には浄化槽の設定がわかりませんが、
1:42:17	衛藤。
1:42:19	この隣接構造物、各候補の中には該当するものだと、いうふうに整理しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:24	岩盤上に設置、かつ評価対象構造物と同等以上の大きさを埋込を有してますので、
1:42:31	それで耐震性を有するか否かの判断で、財政申請を許さないの、埋め戻し動としてモデル化という考えとしております。以上です。
1:42:41	規制庁の服部ですはい説明としてはわかりましたというかそうなんでしょうということなんですけど。
1:42:49	ちなみに、だから確認したいのは、
1:42:52	結局、これ
1:42:55	緊急対策用。
1:42:57	燃料地下タンクの左側は、何か箱が書いてあって何となくこうここコンクリートでできてる。
1:43:06	ボックスカルバートみたいなもんだなっていうのはわかるんですけど、この浄化槽については、何も書かずに、
1:43:14	斜線だけ引いてあるので、何かよくわからないんですけど、コンクリートだったらコンクリート系のものを書いていただいた方がわかりやすいし、
1:43:21	ちょっと
1:43:23	例えば、塩ビ製とかで、明らかにもう耐震性が全然ないもので、
1:43:30	ということであれば基本的には先ほどの 210 ページの条件には乗らないんですけども、
1:43:37	土で評価する方が保守的になるんでしょうということであれば、それはそれでいいので、
1:43:45	ちょっとどういう構造なのかっていうところだけが少し気になるので、そこだけ調べていただければとここに書いてくださいということでもなくて、
1:43:54	確認、
1:43:56	今わかれば教えていただきたいし、わからなければまた今後、どういうものかっていうことだけ説明していただければと思いますが、いかがでしょうか。どうぞ。
1:44:06	はい。中国電力の吉本です。回答としては今後、確認して回答という形にさせていただきますんですけども。
1:44:13	もし、コンクリート構造物であった場合は、左側に書いてあるダクトとかと異なって、
1:44:21	コンクリートであることがわからないような絵になってますので、衛藤オクいただくことを確認した時にそこ修正して、ご提示したいと考えてます以上です。
1:44:30	副社長のハツトリですはい。わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:33	他にあればお願いします。
1:44:36	よろしいですか。
1:44:38	では
1:44:42	屋外重要土木構造物の耐震安全性評価についてのヒアリング事実確認はこれにまでにしたいと思います。引き続き取水槽の耐震安全性評価に入るんですけども、
1:44:54	時間として大体 1 時間 45 分ぐらい経ってますので、ここで一旦休憩を入れたいと思いますがよろしいでしょうか。
1:45:05	中国電力の霜田です。はい。よろしくお願いします。
1:45:09	規制庁のハツリですはいわかりましたそれでは一旦録音を停止いたします。
1:45:18	規制庁の服部です。
1:45:20	それでは、島根 2 号機設工認のヒアリングについて再開をいたします。
1:45:26	後半の議題については取水槽の安全、
1:45:30	耐震安全性評価となりますがよろしいでしょうか。どうぞ。
1:45:35	はい。中国電力土谷です。ご説明の通り水槽の耐震安全性評価について説明いたします。
1:45:43	規制庁の服部です。はいわかりました。それでは説明を始めてください。
1:45:49	はい。中国電力の土谷です。
1:45:51	貯水槽の耐震安全性評価の中身に入る前に、前段として説明方針の方述べさせていただきます。
1:45:57	第 6 回補正に先立ち、屋外重要土木構造物の、特に解析条件や解析手法について事前に確認をいただきたく、
1:46:05	取水槽について資料 032 で本日説明させていただきます。
1:46:11	タイ審査計算の評価結果は、現在第 6 回申請に向けて取りまとめ中であり、評価結果や結果を伴う参考資料は、次回以降の取水槽のヒアリングにおいてコメント回答とあわせて使用拡大、拡充を図り、
1:46:25	説明させていただく予定としております。
1:46:30	水、取水槽の耐震安全性評価につきましては先行サイトの審査を踏まえて、同様な解析方法により実施をしてございます。
1:46:37	初めてのオク受構造物の説明ということで、一通り説明させていただきますけれども、時間もありますので、30 分程度で、重要なポイントや、先行サイトと異なる点について重点的に説明をして参ります。
1:46:51	目次の 1 ページ、お願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:56	本日の説明は赤枠で示した箇所となります。
1:47:02	はい。1 ページ、お願いいたします。
1:47:06	1、評価方法、取水槽に求められる要求機能とそれに対する評価方法の概要を記載しております。
1:47:16	2 ページお願いいたします。
1:47:19	2、評価条件、2.1、適用規格、
1:47:23	取水槽の耐震評価に適用するコンクリート標準示方書、弱土木学会マニュアル等の規格基準類について、2 ページから 4 ページに記載してございます。
1:47:35	5 ページ目お願いいたします。
1:47:39	2. に構造及び補強の概要。
1:47:43	まず、構造概要ですが、取水槽は地下 2 階構造となっており、上部は神エリア、海水ポンプエリア及びストレーナーエリアの 3 エリアに分かれております。
1:47:53	下部は水路となっており、除じん機エリアの下部は 6 連のボックスカルバート。
1:47:58	海水ポンプエリアの下部は 3 連のボックスカルバート構造となっております。
1:48:03	続いて補強の概要です。
1:48:06	取水槽の耐震性を確保するため、動圧制限を目的に、
1:48:10	埋戻しの地盤改良及び耐震補強を実施します。
1:48:14	曲げ軸力系の破壊に対する補強として、つ妻壁の増し厚補強等を実施します。
1:48:21	また、せん断破壊に対する補強として、後施工せん断補強工法補正鳥羽によるせん断補強を実施します。
1:48:29	あわせて波及的影響を防止するための、
1:48:32	RSWポンプだな、の撤去を行います。
1:48:36	続いて 20 ページお願いいたします。
1:48:45	2.3、耐震評価フローです。
1:48:48	取水槽は、加振方向に平行に配置される妻壁や隔壁を有する箱型構造物であることから、
1:48:55	3 次元非線形シェル要素を用いた 3 次元構造解析による耐震評価を実施します。
1:49:01	3 次元構造解析における基本ケースから水平 2 方向再開に至る一連の評価プロセスを、図の 2-23 に示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:11	3次元構造解析にあたっては、石毛宇津有限要素法を用いた地震応答解析により地震荷重を算定し、その荷重を3次元構造解析モデルに作用させ耐震評価を実施します。
1:49:24	地震応答解析により抽出する応答値は、3次元構造解析モデルに作用させる地震、
1:49:30	地震離脱及び慣性力、並びに基礎地盤等に発生する接地圧としております。
1:49:36	また機器配管系、浸水防止設備及び防護対策設備が耐震性に関する技術基準に適合することを確認するため、応答値を抽出します。
1:49:46	水槽の基礎地盤の支持性能については、地震を頭に入れられた応答値を、
1:49:50	用いて耐震評価を行います。
1:49:53	25ページお願いいたします。
1:49:57	2.4、地震時荷重算出断面の選定です。
1:50:01	地震時荷重算出断面は、
1:50:03	受振器エリアA断面、海水ポンプエリアB断面及びストレーナルエリアC断面及び南北断面のD断面としております。
1:50:14	取水槽の地震時算出断面図は、図の2-24から27に示しております。
1:50:22	28ページお願いします。
1:50:26	2.5、使用材料及び材料の物性値については、下記の通りとなっております。
1:50:33	2.6、地盤の物性値。
1:50:36	こちらについても下記の通りとなっております。
1:50:40	31ページお願いします。
1:50:43	2.7 評価構造物諸元及び要求機能の考え方。
1:50:48	2.7. 1、取水槽の所。
1:50:50	諸元を表の2-5、評価部位を2-28に示しております。
1:50:56	33ページお願いします。
1:51:01	ここでは、通水機能止水機能C機能の考え方と、該当する部材を示しております。
1:51:09	36ページお願いします。
1:51:13	2.8。
1:51:15	地下水位は、各断面とも4.5メートルとしております。
1:51:19	ここで訂正なんですけれども、1行目石化設計地下水とすべきところ値、Hの、文字がダブってございました。記載を適正化いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:32	39 ページお願いします。
1:51:38	3.1、地震応答解析賞
1:51:42	地震応答解析手法については、図の 3-1 に示す解析手法の選定フローに基づき選定します。
1:51:50	東西方向につきましては、有効力解析南北方向につきましては全力応力解析としております。
1:51:57	なお、東西方向についてはゆ、有効応力解析に加えて液状化しない場合の影響を確認するため、全応力解析も実施します。
1:52:05	構造部材については中ショウガン底盤及び地震時荷重算出断面に垂直な壁部材を線形はり要素、
1:52:12	断面に平行な壁部材は平面応力要素としてモデル化します。
1:52:17	3次元構造モデルの変位を整合させるための剛性調整につきましては、3.2.3 で説明いたします。
1:52:27	地盤については平面ひずみ要素でモデル化することとし、このうち、岩盤、MMR及び埋戻しコンクリートにつきましては線形でモデル化。
1:52:35	埋戻し動及び改良地盤については、地盤の剛性及び減衰のひずみ依存性を適切に考慮できるマルチスプリングモデルでモデル化することとし、まず毒性はそう行政モデルを用いて非線形性を考慮します。
1:52:48	解析コードにつきましてはFLIP及びアプリを使用いたします。
1:52:53	42 ページお願いいたします。
1:52:57	3.2.1、解析モデル領域です。地震時応答解析モデルにつきましては助役を参考にモデル幅を、構造物の基礎幅の 5 倍以上。
1:53:07	モデル高さを構造物基礎幅の 1.5 から 2 倍確保しております。
1:53:13	3.2.2 境界条件です。
1:53:16	ここでは 2 次元解析における固有値解析、常時応力解析、地震時、地震応答解析の評価条件を記載しております。
1:53:25	50 ページお願いします。
1:53:32	3.2.3、構造物のモデル化、(1)東西方向。
1:53:37	取水槽の東西方向は構造的特徴を踏まえ、妻壁や隔壁の配置が異なることによる剛性差を考慮して、除じん機エリア、海水ポンプエリアBB、ストレナーナエリアを通る断面とし、
1:53:49	エリアごとに等価剛性モデルを作成いたします。
1:53:52	等価剛性の設定は、次のツーステップで実施いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:59	手順 1 として、エリア奥行き長さに対する部材の奥行き長さの比率から補正係数 α を、線形はり要素及び平面応力要素それぞれに設定します。
1:54:09	52 ページの図の 3、3-11 をご覧ください。
1:54:16	これ、こちらの図は海水ポンプエリアの断面を示しております。
1:54:21	この断面を先期やはり 1①から⑨、
1:54:25	平面要素、四角い力、四角 4 で見たときに、各要素がオク方向にどれだけの比率であるかということをお α で表しております。
1:54:35	57 ページお願いします。
1:54:39	57 ページの図の 3-16 お願いします、手順 2 といたしまして、線形の 3 次元構造解析モデルに水平荷重として、単位荷重 100kN を作用させ、構造物の空気方法の水平な水平変位を、
1:54:54	算定します。さらに補正係数 α を設定した二次元モデルに、同じ単位荷重を 3、作用させ、構成変化部における両側壁の平均変位を算定し、3 次元構造解析モデルの平均変位と等しくなるよう、
1:55:09	補正係数 β を算定します。
1:55:11	剛性調整の結果につきましては、図の 3-17 及び表の 1、A3 の 1 から 3-6 に記載しております。
1:55:20	南北方向につきましては、動圧を直接受ける妻壁と、各エリアに配置されるか経費が上方向でへ、
1:55:29	拘束されておらず、地震時に一体として挙動しないことから、
1:55:33	補正係数 β については考慮せず、補正係数 α のみ設定することとしております。
1:55:40	61 ページお願いします。
1:55:44	3.2. 4、隣接構造モデル化です。
1:55:48	南北方向において、タービン建物及び防波壁は取水槽の隣接構造物に該当するため、
1:55:54	タービン建物及び誤廃棄をモデル化します。
1:55:58	63 ページお願いします。
1:56:02	3.2. 5、地盤のモデル化。
1:56:06	岩盤、MMR 及び埋戻しコンクリートは線形の辺、先見の平面ひずみ要素でモデル化します。
1:56:12	また上本指導及び改良地盤は、
1:56:15	地盤の非線形性をマルチスプリング要素で考慮した平面ひずみ要素でモデル化します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:20	岩盤境界速度層の境界は、南北断面では、速度層断面の北傾斜モデル化し、
1:56:26	東西断面では速度層断面図が概ね水平であることから、水平成層としてモデル化しますが、
1:56:33	取水層下部において速度層境界が傾斜していることから、
1:56:37	保守的に速度層が厚くなるよう、モデル化しております。
1:56:42	3.2. 6 では、ジョイント要素の設定について記載しております。
1:56:47	70 ページお願いします。
1:56:53	3.3、減衰定数週の減衰定数の設定について記載しております。
1:56:59	72 ページお願いいたします。
1:57:04	全応力解析におけるユリ減衰
1:57:07	のケース、 α β は固有値解析に解析結果によるよりえられる卓越するモードの減衰とレイリー減衰が、
1:57:16	1 つ玲子設定します。
1:57:18	なお卓越するものは全体系の固有値解析における刺激係数。
1:57:22	及びモード図で、
1:57:24	決定しております。
1:57:27	92 ページお願いいたします。
1:57:35	有効応力解析で設定するり減数につきましては、地震力による時系列での地盤剛性の中に伴う一次固有振動数の、
1:57:44	低振動数側へのシフトに応じてAA時地盤応答の保守的な評価を行われるよう係数 α は 0 として設定しております。
1:57:53	係数データにつきましては、FLIP研究会、14 年間の件、検討成果のまとめに基づきまして、0.002 と設定しております。
1:58:03	次のページお願いします。3.4、荷重の組み合わせです。
1:58:09	耐震評価にて考慮する荷重及び荷重の組み合わせを表の 3-17 に記載しております。
1:58:17	95 ページお願いいたします。
1:58:21	3.4. 1 から 3.4. 7 につきましては、各荷重のモデルへの考慮の仕方、荷重図や位置図を記載しております。
1:58:31	ここで訂正なんです、この後記載しております、掲載しております果樹の絵に記載されてる値に誤りがございました。
1:58:41	奥行き方向を掛けた値となっておりますので次回、この図のほうを差し替えさせていただければと思っております。
1:58:52	111 ページお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:59	3.5 地震応答解析機器の解析ケース 3.5. 1、耐震評価における解析ケース。
1:59:05	(1)、地盤物性のばらつきを考慮した解析ケース。
1:59:10	A断面B断面及びc断面周辺には、動的変形特性にひずみ依存性がある、埋戻しが主に分布しており、
1:59:18	埋戻し動が地震時に構造物への応答に大きく影響を与えると判断されることから、
1:59:23	名簿と資料のばらつきについて影響確認します。
1:59:27	ばらつきを考慮する物性値は、せん断弾性係数とし、
1:59:31	平均値を基本ケースとした場合に加えまして、
1:59:34	平均値± σ について確認を行います。
1:59:39	さらに非液状化の条件を仮定したケースを実施することにより、
1:59:44	地盤物性のばらつきの影響を網羅的に考慮します。
1:59:48	D断面につきましては、評価、耐震評価における3次元構造解析の条件をそろえるため、
1:59:54	埋戻量のばらつきを考慮することとします。
1:59:57	平均値を基本ケースとした場合に加えまして、
2:00:00	平均値± 1σ のケースについて調整、確認を行います。
2:00:06	113 ページお願いします。
2:00:11	(2)耐震評価における解析ケースの組み合わせ。
2:00:14	取水槽の耐震評価においては、基準地震地震動 $Ss0$ やっぱ及びこれらに位相反転を考慮した震度6%を加えた全12版を用いて、基本ケースを実施いたします。
2:00:26	基本ケースにおいて、曲げ軸力系の破壊、せん断破壊及び一番の支持力照査の調査項目ごとに、照査値が0.5を超えるすべての調査項目に対して、
2:00:36	最も厳しい地震動を用いて、
2:00:39	AからC断面の場合は、表3の中に示すケースをD断面の場合は、表3-22に示すケースを実施します。
2:00:48	すべての調査項目の調査値がいずれも0.5以下の場合は、照査値が最も厳しくなる地震動を用いて実施をいたします。
2:00:57	117 ページをお願いいたします。
2:01:01	3.5. 2 機器配管系の耐震評価に適用する解析ケース、材料物性のばらつきを考慮した解析ケース。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:09	材料物性のばらつきにつきましては剛性を定義するコンクリートに合う係数がコンクリートの設計基準個強度に対し、押して定まることを踏まえ、コンクリートの設計基準強度を基本ケースとし、ヤング係数をコンクリートの実強度に、
2:01:22	で対応して定めたケースについて確認をします。
2:01:26	取水槽におけるコンクリート実強度は、次のページの
2:01:30	失礼しました 120 ページの図 3-45、及び 3-46 に示す位置におけるコア抜き。
2:01:39	強度の平均値とし、LANケースは実強度の平均値からコンクリート、
2:01:44	標準商材に基づき算出しております。
2:01:48	122 ページお願いします。
2:01:54	(2)地下水の影響を考慮した解析ケース。
2:01:57	取水槽の耐震評価に用いる地下水は地下水位設定低下設備に期待せず保守的に高く設定していることから、機器配管系の床宇都への影響を確認するため、地下水が十分、
2:02:08	低下している解析モデル内地下水がせ、
2:02:12	を設定しない状態での家影響検討ケースを実施します。
2:02:17	機器配管系の耐震評価における解析ケースの組み合わせですけれども、
2:02:22	表の 3-27 から 30 に示す通りとしております。
2:02:26	127 ページお願いします。
2:02:31	4.2. 1、構造物のモデル化。
2:02:34	取水槽は材料の非線形線形特性を考慮した。
2:02:38	非線形シェル要素でモデル化しております。
2:02:41	133 ページお願いします。
2:02:46	線形シェル要素は、部材高さ方向に平面予想を重ね合わせて構成しています。
2:02:51	至近の位置が宗の中心となるよう、上下に、
2:02:54	鉄筋コンクリートの層を設定し鉄筋コンクリート造除く範囲は無菌コンクリートとしてモデル化しております。
2:03:00	また、部材接合部のグー各部には 5 駅を設定しております。134 ページお願いします。
2:03:08	広域の設定について
2:03:10	部材接合部の区域設定に当たりましては、コンクリート標準示方書 2002 に基づきまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:17	図の 4-2、前のページになりますが、ミイ示さんについて底盤等ば、部材厚が厚い。
2:03:23	部材にご意見を設定しております。設定した場合には図の 4-5 をご覧ください。
2:03:30	次のページです。4.2. 4、地盤ばね要素、
2:03:35	常時解析において支持地盤に設定する地盤までは、基礎地盤に対する静的な差異化状態を、
2:03:41	設定想定して定義されている道路狭小下部構造編に基づき、設定します地震荷重におきましては、道路業種褒章大臣設計に基づき設定します。
2:03:53	一応災害時には、骨折時佐山記載の誤りですけれども、最下方向と平行な壁に地盤ばねを設定いたします。
2:04:04	記者の方は、次回適正化いたします。
2:04:10	138 ページお願いいたします。
2:04:15	4.2. 5、材料の非線形性特性。
2:04:18	(1)コンクリート、
2:04:20	本校では、
2:04:22	コンクリートと鉄筋の非線形性特性について記載しております。
2:04:26	基本的には先行サイトと同様ですが、コンクリートの引張軟化挙動につきまして、解析プログラムの入力方法の関係で、
2:04:35	図の 4、141 ページの図の 4-9 に示しております引張軟化曲線を入れております。
2:04:42	はい。
2:04:43	100、145 ページお願いいたします。
2:04:48	4.3、調査時刻の前提です。
2:04:52	構造部材の健全性評価におきまして、詳細時刻は、構造、
2:04:56	的特徴を踏まえ、損傷モードごとに、及び部材ごとに評価が厳しくなる調査時刻を、
2:05:02	地震応答解析の結果から複数選定します。
2:05:05	146 ページの表の 4-1 をご覧ください。
2:05:11	こちらが詳細時刻の考え方で、時刻 1 から時刻まで設定しております。
2:05:17	それぞれ下部講座、上部構造下部構造に着目し、曲げ軸力系の破壊せん断破壊、
2:05:24	について、損傷モードを定義しており、それぞれに
2:05:30	それぞれに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:32	当たる荷重抽出時刻、
2:05:35	を用いて
2:05:37	落ちております。
2:05:41	145 ページに戻っていただきまして、取水槽、
2:05:47	取水槽の地震応答解析断面は、除じん機エリア回線ポンプエリアストレ ーナーエリアの 3 段目あり、
2:05:53	除じん旧Aエリア及び海水ポンプエリアにつきましては、1 個当たり 99。
2:05:58	ストレナーエリアにつきましては、受振器エリア及び海水ポンプエリア と異なり下部構造がなく、時刻位置で損傷モード。
2:06:06	確認する損傷も同時刻に 3 で確認できることから、
2:06:10	全国 2 から 9 の 86 としております。
2:06:13	各エリアで選定された調査時刻の考え方について、側壁のせん断破壊 面外に対する調査時刻 56 の選定を、選定例を図の 4 の中に、
2:06:23	に示しております 147 ページをご覧ください。
2:06:27	地震応答結果の開解析や解析の結果から、エリアごとの側壁における 水平荷重火砕物な事故、
2:06:34	PT23 を選定した値サノ値、3 次元構造解析に用いる照査時刻の組み 合わせを設定します。
2:06:45	3 次元コード解析における調査時刻の組み合わせは選定した時刻、P1 からT3 の前後 0.1 秒以内で着目した断面以外の断面において、保守 的な荷重となる時刻としてます。
2:06:56	例えば、ストレナーエリアで選ばれた時刻キーを中心に、±使用の範囲 で、その他に断面で荷重が最大となる時刻比 1-1、T1-2 を選び、
2:07:05	それぞれの時刻における荷重を入れることで保守的な解析をすることと しています。
2:07:10	P2P3 についても同様の考え方で設定しております。
2:07:14	148 ページお願いします。
2:07:17	4.4、入力荷重。
2:07:19	3 次元構造解析に使用する入力荷重は下表の通りとなっております。
2:07:25	156 ページをお願いいたします。
2:07:34	入力地震動の設定入力地震動は、
2:07:38	仕事解析の基本方針のうち、2.3 億重度構造物に示す入力地震動の設 定方針を踏まえて設定しております。
2:07:47	209 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:59	209 ページ、許容限界の設定、5.2. 1、曲げ軸力系の破壊に対する協議会。
2:08:06	構造強度を有することの関係に確認における曲げ陸力系の破壊に対する許容限界は、土木学会マニュアルに基づき、限界ひずみ、
2:08:15	1%としております。
2:08:18	各要求機能について通水機能を有すること及びSクラスの施設を支持する機能を損なわないことの確認においては、これが終局状態に至らないことを目標性能とすることから、
2:08:28	限界ひずみ、1%を許容限界とします。
2:08:31	止水機能を損なわないことの確認においては、コンクリート標準示方書に基づきまして、コンクリートの圧縮ひずみ及び資金歪について部材降伏に相当するひずみ、
2:08:41	それぞれ 2000 マイクロ、1725 マイクロとします。
2:08:46	Ph. D. 候補を適用する部材につきましては、PT候補は概ね弾性範囲となる状況下でを使用することから、
2:08:53	コンクリート及び鉄筋ひずみが部材降伏に相当する限界ひずみを下回ることをあわせて確認します。
2:09:00	215 ページお願いします。
2:09:04	せん断破壊に対する許容限界。
2:09:07	構造強度を有することの確認。
2:09:10	通水機能を有することの確認、被水機能を損なわないことの確認及びSクラスの施設を支持する機能を損なうことの確認におけるせん断破壊に対する協議会は、
2:09:20	土木学会マニュアルに基づくせん断耐力といたします。
2:09:25	使用する評価式は、次の 2、2 種類となります。せん断耐力は
2:09:31	土木学会マニワに基づき、棒部材式を適用します。
2:09:34	Ph. D. 候補を用いる部材につきましては、
2:09:37	PPBによりせん断補強された部材のせん断耐力式を用います。
2:09:42	219 ページお願いいたします。
2:09:48	括弧 2 歩セット場合によりせん断補強された部材のせん断耐力式、
2:09:53	取水槽において後施工せん断補強金を配置した構造部材のせん断耐力については、
2:09:59	建設技術審査証明報告書。
2:10:03	に示されている伊賀の、
2:10:05	設計式、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:07	により求めます。ここで訂正ですけれども、下に記載しております。
2:10:12	組織、文字分けをしておりますので、
2:10:16	次回適正化いたします。入るものとしては掛け算のポツが入るようになっております。失礼いたしました。
2:10:24	220 ページをお願いいたします。
2:10:29	5.2. 3、壁部材の面内せん断に対する許容限界。
2:10:34	壁部材の面内せん断に対する許容限界はJEAGに基づきまして、2000万強等を許容限界としています。
2:10:42	各要求機能について主席機能を損なわないことの確認においては、面内せん断ひずみが、
2:10:48	救えるスケルトンカーブの台帳 0 点が 1 を下回る場合は水密性に影響のあるひび割れそうでないと考えられるとしております。
2:10:57	曲げ軸力系の破壊に対する許容限界で示す許容限界を下回る場合、概ね弾性範囲に収まっており、顕著な漏水が発生しないと。
2:11:06	評価できます。なお、面内せん断ひずみ γ_1 が超過する場合においては念のため、
2:11:11	漏水量の算定を行います。
2:11:14	223 ページをお願いいたします。
2:11:20	5.2. 4、木曽路地盤の支持性能に対する許容限界。
2:11:26	強い地盤に発生する接地圧に対する今日限界はCM級の岩盤の極限支持力といたします。
2:11:34	225 ページお願いします。
2:11:38	MMRに発生する接地圧に対する許容限界は、コンクリート標準示方書に基づきましてコンクリートのシアツ共同とします、MMRの施設Cに対する協議会は、表の 5-4 歳の通りとしております。
2:11:52	以上駆け足さんいしましたが、説明の方終わりたい。
2:11:55	はい。終わります。
2:11:58	規制庁の服部です。それでは、取水槽の耐震安全性評価の考え方の資料全体に対して確認する点がある方お願いします。
2:12:19	規制庁吉良です。すいません私の方から、数点ですね、ちょっと
2:12:25	確認させてください。
2:12:28	まず、5 ページ。
2:12:31	5 ページの一番下ですね波及的影響を防止するためですねRSWポンプだの撤去を実施するということなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:42	これは今どこに説明があるのかっていうことと、あとちょっと、多分図面に、ここですっていう話かなとは思んですけど。
2:12:52	今後参考資料とかでつけるかどうかっていうのも含めてですねちょっと今、どのようにお考えか説明ください。
2:13:01	はい。中国電力の土谷です。
2:13:04	資料3の17ページをご覧ください。
2:13:09	図の2-17、補強計画図を下に、下の方にありますが、中段、L字で示しておるところが、RSWのポンプ7となっております。
2:13:22	こちらを撤去する予定です。
2:13:27	はい。規制庁、平です。今の資料だところかなということなんですけど。
2:13:33	この、
2:13:35	撤去する間も、もう少し詳細な話っていうのは参考資料とかで、
2:13:40	今後つけていくとかそんな予定でありますか。
2:13:48	はい。中国電力イワコケです。
2:13:51	こちらはですねもともと申請してる内容としましてはRSWポンプの配管をサポートする棚ということで当初計画していたものになりますけれども、
2:14:01	その後検討を進めていく中で、RSWポンプの配管自体がですね、この棚をからサポート取らなくても耐震性があるといったことが確認できたことと、
2:14:10	あわせて波及的影響を防止する観点で撤去するもので今回記載、計画しておりまして記載をさせていただきました。これについて、
2:14:19	土木の資料の方ですね参考資料としてまで、
2:14:24	記載をするという予定はございませんでしたが、
2:14:28	要望がありましたらですねそのように対応させていただこうと思います。
2:14:32	はい。規制庁吉良です。参考資料にさせていただくか確かにおっしゃられる通りかなと思んですけども、ちょっと5ページで出てきたのが、戸塚今まで聞いてなかったの何かなっていうのがあったので、
2:14:47	ちょっとその辺は検討いただいてにもう少し加えるかですね、何か工夫していただければなというふうに思いますのでご検討お願いします。
2:14:59	続いてですけど、これは32ページで、
2:15:04	これちょっと本当に記載だけの話で、
2:15:08	この3次元モデル、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:12	今回シールで、モデル化してるんですけどこれって多分コストアップ0なのか、の最適のソフトの機能でその板Ⅱの表示をしてるだけだと思うんですけど。
2:15:27	ちょっとこれを見ると何かソリッドでモデル化したようにも見えるので、ちょっとその辺、注記を入れていただきたいと思いますが、いかがですか。
2:15:39	はい。中国電力の土谷です。
2:15:41	今ご指摘いただきました通り、こちらの32ページ、図の2-28で示してる図ですと、ソリッドモデルで、解析をしているかのように、
2:15:52	見えるかと思しますので、そちらの方を記載を
2:15:56	適正化したいと思います。
2:15:59	はい。よろしく申し上げます。続いて42ページで、
2:16:04	地震応答解析モデルの設定ということで
2:16:11	モデル化の話があるんですけど、まずこの3.2章というのは、FLIPまゆ抗力のFLIPと、全応力のTトップ。
2:16:22	これ共通で、
2:16:26	一つの内容ということでよろしいんでしょうか。
2:16:29	というのと、もし、違いがあれば何、何らか書き分ける必要があるかなと思うんですけど、その辺はいかがですか。
2:16:43	はい、中国電力の土谷です。こちらに記載してある条件につきましては共通のものとなっております。
2:16:51	はい。
2:16:52	わかりました。共通ということで、ちょっと今後中身みながらですねもし書けるつけることがあればと思うんですけど。
2:17:01	42ページ今のところで、これちょっと先行の資料も変えても東海第2からですね、FLIPを使った評価っていうのを本格的にやってるかなと思うんですけど。
2:17:14	その時にですねちょっとFLIPの場合、
2:17:19	何ですかね解析の、
2:17:20	流れの中で、まず自由地盤で
2:17:27	一応協力であったりとか地震応答の計算をまわして、それで真ん中の二次元の支社協力とそれで次長とという流れで、ちょっとそういう、
2:17:39	流れがあるのでその辺は、
2:17:41	ちょっと帰っていただいでいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:44	おそらく女川も同じような内容を書いていると思うんですけど、今回、もうFLIPで同じようなやり方をしているのであればそれは
2:17:55	書いておく必要があるかなと思うんですけどその点についていかがでしょうか。
2:18:09	はい中国的にオクのヨシモトです。ちょっと今のご指摘について、確認なんですけれども、
2:18:14	今おっしゃったのは、
2:18:18	FLIPにおいてその種Nの関係を定めるための、初期の上場力解析をするのであれば、それについて記載が足りないのではないかというそういう趣旨でしょうか。
2:18:36	はい。そこ、今回は、
2:18:39	選挙ありほう素だからってということですね。わかりました。
2:18:43	はい。
2:18:44	じゃあ、ちょっとそれははい。そういうことって理解をしました。
2:18:50	それと、あとすいません続いて43ページなんですけど、
2:18:56	これ固有値解析の時は側方の境界条件っていうのは、今書いてないんですけどフリーなんですかね。
2:19:08	はい中国電力の吉本です。フリーで設定しております。
2:19:12	はい、わかりました。
2:19:15	それと、94ページ。
2:19:24	この固定荷重のところの浸水防止設備からいうと、防護対策設備荷重なんですけど、これより前のところにも出てくるかもしれないんですけど、
2:19:35	具体的な設備っていうのがちょっと、
2:19:39	増えたほうがいいかなと思っていて、
2:19:41	防護対策設備っていうのが多分、
2:19:44	竜巻のことを言ってるのかなとか思いながらもですね、ちょっとここ、これだけだとですねちょっと漠然とし過ぎてて、わからないんですけどちょっとそこ、
2:19:54	追記していただけないでしょうか。
2:19:59	はい。中国電力の土谷です。ご指摘いただいた点につきまして、浸水防護設備につきましては、浸水防止壁、
2:20:09	等が含まれております。防護大切対策設備につきましては竜巻対策のものが入っております、若干、こちらの用語ではヒロイ、
2:20:19	意味合いで記載をさせていただいていたと思いますので、もう少しわかるように記載をいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:27	はい。よろしくお願いします。私から最後になるんですけど130ページで、これも本当に記載だけなんですけど、
2:20:34	部材の様相座標系が赤で書いてあって、それでその図面の1人1にです。ね、全体だけを書いてあると思うんですけど、
2:20:47	全体座標系は何か通例的には文字で記載するのかなというふうに思いますので、そこはちょっと
2:20:54	大森で行っていただいた方がいいかなと思うんですけど。
2:21:00	あれですか。
2:21:07	中国電力の土谷です。
2:21:09	今のコメントを確認させていただきたいんですけども、
2:21:13	例えば、131ページ。
2:21:17	いきますと、
2:21:18	火、
2:21:19	図の4-2(2)。
2:21:21	の控壁①というところに、の一つ上に書いてある代表系のXYといったものが、小文字ではなく、
2:21:31	をお持ちの方が良いということでよろしかったでしょうか。えっとですね、131ページだとちょっとわかりづらいです。今黒文字でZとかZOIとか書いてあるんですけどこれが前提と表敬かなと思ってあくまでじゃよ座標系は、
2:21:46	それコモリでいいかなと思うんですけど、この黒の方ですね大文字かなというふうに思います。
2:21:52	中部電力土谷です。失礼いたしました。コメントの方理解いたしましたので適正化いたします。
2:21:59	はい。私から以上です。
2:22:04	規制庁のハットリですほかお願いします。
2:22:07	瀬崎ですけども私から4点ありまして、ちょっと簡単なところから最初始めますけど、
2:22:15	地下水位なんですけど、49ページの
2:22:19	図3-9の、
2:22:21	中で、
2:22:23	両括弧Aですね。
2:22:25	これ見たときに、海側の方は、
2:22:29	は地下水と記載されてるんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:33	いわゆる現象建屋からその背後者名まで含めて頂の地下水ってこれ、 どういうふうを考えられてるんすか、近づいなし。
2:22:41	ですか。
2:22:48	はい、中国電力の土谷です。そちらの地下水も 4.5 メートルとなっております。
2:22:54	であればですねその辺ちょっとわかるように図示していただければ、何 かちょっと奇異に感じるんで、
2:22:59	部分的に、第 5 種斜面とかその辺でゆ、全部
2:23:06	4.5 メーターとしてだったら 4.5 メーターで結構ですんでそれがわかるよ うにしていきたいというのが一つ。
2:23:12	これ適正化の話だと思うんですが、それと、
2:23:15	続いて、223 ページで 5-2-4 図ですか、基礎地盤の支持制度に対す る許容限界っていうところで、
2:23:25	これ見ると、
2:23:27	図 5-63-B 断面、
2:23:30	オカ、
2:23:31	あと、次の 224 ページの、
2:23:34	CC 断面とか D 段で見ると、一応 CL 級岩盤も、
2:23:40	介在せを一応、直接に挟むんですね、基本的に言うと、原子炉建屋とか そういったときの設置許可、
2:23:48	設置圧、
2:23:50	の補強限界としては割と基本的には、
2:23:54	一番ピーク。
2:23:56	カインを、
2:23:59	等級の岩盤を、の協議会使うこと多いんですが、基本的にこれ、CM 級 として理由ってのは、
2:24:07	代表としてはどういう意味なんですか。ある意味 CL 級もあるんですよ ね。
2:24:15	はい、中国電力の土谷です。
2:24:18	こちらにつきましては、
2:24:20	地質上、CL が薄い、ありますけれども、非常に薄いというふうに認識し ておりましたので CM で確認することとしております。
2:24:32	すいません、それは工学的な説明になっていないので、説明になってい ません。だから適合しません。はい。以上です。
2:24:42	なんで、基本的に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:45	例えば、
2:24:47	一つの手続きのような状態で考えるのか何かしないと府いわ副後坂なんで、副複合地盤として評価すべきなんじゃないですか。
2:24:58	だから、
2:24:59	CM級というか、いわゆる悪さをしないという説明が必要なんじゃないですか。
2:25:06	中学て合理的な説明が必要なんじゃないですか。
2:25:11	はい。中国電力です。
2:25:13	今、土谷が言った通り確かにCL級がすごいごくわずかであったのでこの資料上はCMというふうに記載をしておりましたけれども、今の江崎さんからいただいたコメントを踏まえてですね、
2:25:23	CL級を許容限界とした評価をですね今後やっていくように、資料の記載と、検討の方も含めて、それでも無線局は生かしていきます。
2:25:32	はい。
2:25:33	続いて、みつ通目です。三つ目はね。
2:25:37	時刻選定で一応確認だけなんですけど、147ページとこれは146ページから書いていますが、基本的にはこのような考え方ってとこなんかと一緒にしたんや。
2:25:49	眺めて言いました。で、
2:25:51	ただし、以前聞いても口頭では聞いたような記憶はあるんですが、いわゆる
2:25:59	この時刻で、
2:26:01	選んだものが、基本的には局所的な部位、いわゆる、
2:26:06	嘘、例えば、底版と側壁のつけ根あたりだとかですねそういうところで
2:26:14	選んだ荷重よりも大きい、大きい時刻がないのか、いわゆるそれによって、その構造物全体としての影響はこれで見た分表の4-1で見れると思うんですが局所的な影響は、
2:26:26	必ずしもですねエミれているというわけではないと思うんですね。
2:26:31	ほなもう基本的に言うと、
2:26:34	例えば継続時間中での最大の荷重分布、
2:26:40	ただ動圧分布とか出してきて、それと比べても遜色ないのかまたそこがとして大きくなるような、
2:26:50	部分的にですね時刻があったとしてもそれが、基本的にはその安全性には影響ないというような
2:27:00	妥当性がある種妥当性の説明をなされていますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:04	こういった取り組みがなされるというふうを考えてよろしいのでしょうか。
2:27:13	はい、中国電力の土屋です。
2:27:15	今のコメントにつきましてはその選んだ調査時刻が妥当なものなのかちゃんと確認しているかということだったかと思います。
2:27:24	こちらにつきましては、代表的な地震動を使いまして、全時刻、最大動圧を時刻 1 から 9 が、
2:27:32	概ね包絡していることを確認をしておりますが、一部、崩落しない箇所もありますので、そちらにつきましては、先行サイトと同様に、評価の方をしていきたいと考えております。
2:27:46	わかりました。一応ですねコメントとして残したいと思うんですけど一応渦中抽出設計
2:27:53	課、
2:27:55	地震のですね継続時間、
2:27:57	内で網羅的に耐震安全性を確保できて、
2:28:03	いる。
2:28:04	ことを説明してくださいというコメント残しておきますのでその時にまた改めてそれを説明してください。
2:28:12	はい。中国電力土屋です。承知いたしました。
2:28:16	あと、最後になりますけど、
2:28:20	要は、
2:28:21	理事等、
2:28:23	二次検討的も、愛知県戸田地震応答解析の中で構造物を、ある程度その 3 次元構造のものを二次元等価剛性にモデル化するという観点の中で、
2:28:35	この辺 57 ページに書いて、式図として書いてあるんですが、
2:28:41	例えば、
2:28:42	水平、
2:28:43	水平動、
2:28:47	及び、あと、上下動。
2:28:49	炉心動特性に、
2:28:51	における妥当性っていうのは、
2:28:53	確認できてるのでしょうか。
2:28:55	例えば、
2:28:56	こういう次長。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:00	河内解析においても、一致性が見られるとか、そういった検証はされてるんでしょうか。
2:29:08	ぴったりじゃないと思うんですけど。
2:29:12	一次周期とか、
2:29:14	はい、じゃあ第二次スギタ出てこないかもしれませんけど、
2:29:19	はい、中国電力イワコケです。今おっしゃられたような内容についてですけれども、実際に行っている調整はこの資料に記載にある水平方向のものに限って行っておまして、
2:29:30	これ静的ですよ、説明的な話でしょそうですね静的な話です。
2:29:35	うん。
2:29:36	だけどそう固有値としては見なくていいんですかね、上下特に上下動とかあるわけですよ。水平、
2:29:45	上下度入力ですよ。同時力ですよ。
2:29:48	床をと入ってくんですよ。
2:29:53	はい。中国電力です。
2:29:55	確かにですね性的な検討しかできてないところがありますので上下動の振動特性であったり、こういう時も含めた妥当性、
2:30:04	についてその要否も含めてですねちょっと一度持ち帰って検討してまた別途ご説明させていただきます。以上です。同じくですね、61のタービン建屋もう基本的に出店経営モデルをどう
2:30:19	解析データの諸定数を用いて、こういう平面事件に置き換えてるんですが、これもやっぱりこういう値の比較とかする必要あるんじゃないですか。確か。
2:30:28	あれですよ。
2:30:30	どのサイトでも、
2:30:32	例えば設置許可の山頂で、
2:30:37	地盤の安定性でスーパーフラッシュで二次元で評価する時には出店系モデル。
2:30:42	てモデル化してるわけじゃなくて建て検証建屋とかですね、これはみんなこういう平面ひずみ要素でモデル化してるんですが、そのときのそのモデルの確認の仕方って、
2:30:53	確か。
2:30:54	イシイこういう周期がほぼ合ってるとかそういう確認してたんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。ただそういう意味で、これも同じような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:02	確認はする必要があるんじゃないかなと思うんですがいかがですか。
2:31:08	はい、中国電力の吉本です。今おっしゃられたように他サイトでもそのSRモデルから、平面ひずみ要素に変えたときの、一次固有周期の整合性みたいなものを説明しておりますんで、1枚においてもこれは実施しておりますので、
2:31:23	結果、今回つけてませんが、今後つけます。以上です。
2:31:27	よろしくお願いします。ですから、私のコメントとしては取水槽及びそのタービン建屋を、
2:31:35	モデル化にあたってですね、
2:31:39	心それぞれの浸透特性を、
2:31:42	踏まえた、
2:31:43	モデル化の妥当性を説明することっていうコメントにしますんで、これはある種検証すればいいと思うんで、ぴったり合うことはないと思うんで、その辺は、
2:31:53	ほぼほぼちゃんと震度特性は、モデル化できてるっていう説明だけがきちっと説明できればいいと思っていますので、よろしくお願いします。私からは以上になります。
2:32:07	規制庁の服部です。
2:32:09	すいません今まで、今のエザキの確認に関連してちょっと私からもちょっと1点だけ確認をさせ、一つ確認させていただきたいんですけど。
2:32:19	この詳細時刻の考え方というのが146ページにありまして、
2:32:26	これ女川と同じということで、
2:32:29	同じ側でいろいろと議論されてこういう、
2:32:33	ところをまずは基本的な考え方として抽出すればいいんだろうなということで、このようになったというのは理解はできるんですけど。
2:32:42	私なんか女川のその議論を聞いてないんで、
2:32:46	これだけ見ると、なんで工学的にはこうなんだろうなっていうのは、
2:32:53	設計をやってる人なら数、大体そうだろうなっていうのは想像はできるんですけど、
2:33:00	これ、何でこういう時刻を基本的には選定するのかという、ここに理由っていうのは基本的書いてないですねこういう時刻を選定しますというのと、
2:33:12	その時の土地がこうですということを書いてあるんですけど、
2:33:15	これ一を何でこれ、
2:33:18	この旧自己食うにしたのかというのを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:21	もうここに至るまでの、この考え方っていうのは何か定性的な考え方っていうのは、
2:33:27	何かこう説明することでできますかね。
2:33:31	例えばこういうそれは
2:33:34	もしかすると難しいのかもしれないなっていうのもあって、先ほど江崎が話したように、結果が出てから、これの妥当性を確認するということであればそれはそれでいいかなと思うんですけど。
2:33:48	この9時刻、このパターンを選んだという何かこう定性的な、
2:33:55	説明っていうのはできるものなのかということをやっと、事実確認をさしていただきたいんですが。
2:34:04	はい、中国電力イワコケです。
2:34:06	なぜこのパターンを選ばれたのかというところですけども正直申しましてこれは先行サイトに倣ってやってやっていくのがまずいいのかなと思ってやってるっていうのが実態です。ただし先ほども説明したように、
2:34:21	これも先行サイトと同様ですけども、今回選定した時刻に漏れがないかっていうのは
2:34:28	全時刻でのど厚とかの比較をしてですね、やっていくので、結果的にその両方をもって
2:34:35	この時刻で取水槽の件、耐震評価ができるものと考えております。以上です。規制庁の服部です。はい。
2:34:46	すいません中国電力ヨシツグです。少しだけ補足をさせていただきますと、
2:34:50	まず
2:34:52	先行でも多分そうだったと思うんですけど、どういった損傷があるかっていうところで曲げの破壊なのかそれとも大きく荷重がかかってない、せん断破壊なのかというところを考えて、
2:35:02	取水槽の場合ですと、下の方が
2:35:05	通水になって岩津真壁がないような構造になってますと、上の方は逆にポンプ室等がございまして妻壁があるような構造になってますので、
2:35:15	そこが大きく部材として違うのかなということで分けております。最後にどういった破壊モードかっていうところでは変形的な要素の時刻を選ぶのかそれとも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:27	能力的に荷重がかかっているのかというのをまずは選んでおりましたで、最後イワコケが申しました通り、その中ですべてが包絡してるかどうかというのを、
2:35:38	別の観点で、確認をして、足りなければそれも調査をしていくということで今ちょっと記載をさせていただきたいと思っております。以上です。
2:35:47	規制庁の服部ですはい地中構造物なんで、相対変位が最大となる時刻ってほしい厳しくなるっていうのは一般論としてあるので、そう。もちろん
2:36:00	カンチレバーの場合はね、曲げモーメントが最大になる時刻っていうのを選ぶっていうのは、それもわかるんですね。
2:36:07	ちょっと私、こういう意味でぱっと気になったのは、
2:36:13	上部構造のところは、この荷重の最大、
2:36:18	となる時刻を選定してるんですけど、
2:36:20	この下部構造のところわあ、
2:36:23	差荷重の最大となる時刻ってのはやらないのかなってちょっと思ったので、こら辺をどういうふう
2:36:31	考えてるのかなっていうストーリーみたいなのが、
2:36:34	あるのであれば
2:36:36	説明、
2:36:38	なってもいいかなと思ったんですが、大体、先行でいろいろやられてるといふこともあるので、こだわりはあんまないんですけど、
2:36:48	そういう
2:36:50	のが先行でね。
2:36:52	先行で、例えば先行でもう、もしくはそういう考え方というのがもう、
2:36:56	資料としてあるのであればそれを参考にするとかでもいいですけど、そういうのがあればなと思ったんで、その
2:37:03	条文何だろう、やってくださいとか、つけてくださいということではなくて、そういう考え方というのが説明できるんなら、説明して
2:37:15	いただければいいのかなと思っています。羽鳥さん多分ですねハットリさんのやつをうまく、
2:37:20	コメント出すとしては、今回翁長のやつをマネタンきたんだけど、
2:37:24	オダの事務所を今年までに、
2:37:28	適用できるかどうか、その適用性をちゃんと説明してくださいってことだと思うんですけどね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:34	規制庁の八田ですはいそこまでちょっと言ってしまうと、結構ボリュームのある資料になっちゃうのか、いや、ということであれば、多分そのMMRの
2:37:45	つけてる位置だとか、多分、
2:37:47	違うでしょ、多分。
2:37:49	そういったことを言ったから、必ずしも、例えば
2:37:52	時刻 123 っていうのは大体ほとんどポピュラーな話で、そんな考えですよ、基本的には。
2:37:59	醸造と下層の相対変位の最大の時刻を総合的に認めるっていう意味合いなんで、そんなかな、変わんないっていうね。ただ、そう、下層の部分をどう考えるかっていったところとかその辺は、
2:38:12	各サイトによって大体が今、MMRじゃ誤差一番改良で側方を改良地盤、地盤改良しているんで、その地盤改良するその深さによって、市によって、
2:38:25	変わってきたりいろいろするとは思うので、その辺はちゃんと説明してもらった方がいいのかもしれないなと思っていたんですね。そうすると、大体その、
2:38:33	服部さんが言ってるような話が、ある程度包絡できるかなと思うんですけどいかがですか。
2:38:41	規制庁の服部ですわかりました
2:38:44	ちょっとコメントは難しいんですけど、そういうコメントと、コメントとして残しますか。島根サイトの、
2:38:55	地質の特徴を踏まえて、
2:39:00	全校そうだよね構造の方も一緒だと思うんだけどね。うん。
2:39:04	特徴を踏まえて先行サイトと同様の時刻の選定をしたこと。
2:39:12	の考え方を説明することということで、何らか説明していただければ
2:39:17	膨大な資料は要りませんので、ちょっと説明だけしていただければと思います。よろしいでしょうかどうぞ。
2:39:29	中国電力土谷です。コメントの趣旨理解いたしました
2:39:34	説明の方、させていただこうと思います。
2:39:39	規制庁のハトリですわかりました私はちょっとまたいろいろ聞きたいことがあるので後回しにしますが、ちょっと関連するので 145 ページだけお願いします。
2:39:48	ここで関連するので聞いておきます。
2:39:51	まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:53	これを読んでいく等、
2:39:54	この先行と同じなのかもしれないですけど、いきなり下部構造とかいうのが出てくるんですね。
2:40:00	唐突に、
2:40:02	これ下部構造ってこうずっと読んでたときに何だろうなっていうのがわからなくて次のページ見ればわかるんですけど、
2:40:09	これで、
2:40:12	さえすんま米かなんかでも何でもいいんですけど、最初に出てくる時にはこう言葉の定義っていらないのかな。
2:40:21	下部構造っていうと何となくこう、
2:40:23	橋脚のぴあみたいなのそんなイメージをしてしまっ後は、地盤なのかなとも思ったりとか思って、ちょっとこころは、
2:40:32	何かこの、
2:40:34	言葉の定義、何か一般的な花小。
2:40:39	名刺じゃないような気もするので、何か工夫できないかなと思うんですがいかがですか。
2:40:51	コメントいただいた通り、こちらではちょっと唐突感もありますし、明確にはなっていないと思いますので、記載のほう適正化したいと思います。
2:41:00	規制庁の服部ですわかりましたそれでちょっと確認なんですけど。
2:41:05	上から 123567、7 行目から、
2:41:09	ごめんなさい、6 行目だ。
2:41:12	と下部構造がなく、
2:41:14	時刻位置で確認する損傷モードは、
2:41:18	時刻 2 と 3d 包絡できるみたいな書き方なんですけど。
2:41:24	そもそも下部構造がなければ、
2:41:27	下部構造の時刻の位置って、
2:41:30	いらんんじゃないかなと思ってんですけど。
2:41:33	この、
2:41:34	時刻 2 と 3d 包絡できるみたいなこういう表現というのは、
2:41:40	これどういう意味なのかなってのはちょっときつかったんですけど。
2:41:48	はい。中国電力の土谷です。
2:41:53	ストレナーエリアの
2:41:55	少々お待ちください。
2:42:09	ここ、
2:42:11	資料 3 の 8 ページをご覧ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:20	こちらに各断面の断面図を掲載しておりますが、
2:42:24	例えば真ん中のB断面でいきますと、
2:42:28	ELの 1.1 メートルより上の部分を上部構造、
2:42:34	下、その下を下部構造と言っております。今募集、コメントいただいたものは、
2:42:41	EL-1.1 よりも下に当たるものが、CC断面ではない。
2:42:47	ということということで下部構造がなくというふうな記載とさせていただいております。
2:42:54	規制庁のハツリちょっとすみません、ないのはいないんですよね。ないので1というのはそもそも要らないんじゃないかなと思ってのんだけど。
2:43:04	1は2と3に包絡されるっていうその記載ぶりが何か理由があるのかなと思ってきて、これなんか、1と2で確認できるみたいなこの、
2:43:14	記載ぶりが何か、
2:43:16	何かちょっと、何か意図、趣旨が何か意図があるのかなということを確認したんですが、変えてくださいということではなくて、何か趣旨が何か意図があるのであれば説明いただきて、
2:43:30	何であればないって答えてもらえばそれでいいんですけど。
2:43:38	はい。中国電力の土谷です。江藤。
2:43:41	このように書かせてもらった方が理解がしやすいかと思ひまして記載させていただいていただいたんですけども。おっしゃられた通り、この時刻位置の説明のところでも下部構造におけるというような記載がありますので、それを見ますと、
2:43:55	ここまでの記載は不要と思いますので、地獄2から時刻給を選定するところを記載することとしてその前段につきましては、
2:44:04	記載を省かせていただこうと思います。
2:44:07	規制庁の服部です記載を直してくださいと言ったつもりはないんですけど、ちょっと考えてもらって、これでもいけるっていうならこれで私は別に
2:44:17	事実だけ確認したかったんでいいと思いますのでちょっと検討だけいただければと思いますので、
2:44:23	どっちの記載の適正化んのレベルなので、コメント残すか残さないか、どっちでもいいので、別に残さなくても結構ですので、ちょっとその、何か何か意図があるのかなということがあれば、
2:44:36	ちょっと確認したかったということだけで、
2:44:39	わかりますので言って言いたいことは、そういう対応でお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:46	はい。中国電力土谷です。そのようにいたします。
2:44:49	規制庁のハットリですわかりましたとりあえず一旦、私は終わりにしますが次お願いします。
2:44:59	規制庁の三浦です。少し確認をさせてください。
2:45:05	今の資料の 16 ページ。
2:45:09	の上の図なんですけど、
2:45:12	これ各駅に、
2:45:14	PHV入ってますよね。
2:45:18	10 ペイジーの絵を見ると、背景ゾーンいると。
2:45:23	ここの断面の隔壁にはpHBの表現がないんですけど、これは、
2:45:30	何か知ん図面が食い違っちゃってるような気がするんですが、
2:45:34	どうでしょうか。
2:45:38	中国電力の土谷です。今、ご指摘いただいた点につきましては、10 ページ図の 2-8。
2:45:45	の図に赤枠が漏れておりますので、そちらの方、記載を追加いたします。
2:45:52	ページ目も今日あるってということなんです。はい。
2:45:57	そうするとちょっとここまた、もう一度確認をしておきたいんですが、PH 部補強をやられるってことでいいんですが、例えば上で見れば、
2:46:08	ハンチがありますよね隔壁の上部にハンチがあって、
2:46:13	補強部ってハンチ除いてるじゃないですか。
2:46:17	下部の図を見ると、ハンチ部分全体が補強部分になってるじゃないですか。
2:46:25	これも何か意味があるんですか。
2:46:29	確かにこれ見るとハンチ部分にもPh. D. 入ってるんで、いろいろとそれでいいと思うんですけど、何かこの絵の違いってというのは何か意味があるんですか。
2:46:47	はい。中国電力です。
2:46:49	こちらはですね
2:46:52	16 ページの
2:46:54	2-14、
2:46:55	のポストヘッドバーを施工した。
2:46:58	時時期であったり考え方と、それ以外のところでちょっと次、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:02	すタイ補強時期とか異なってる関係で、実際に違う可能性もありますしちょっと単なる誤記かもしれませんので、そこはすみません図面等を確認して、もし誤りがあれば、
2:47:13	次回的、訂正させていただきます。以上です。規制庁の浦です。多分これ、上の方の図が違ってんだと思いますよ。こういう施工できないので、pHBは、
2:47:24	確認をして、修正するところは修正してください。
2:47:28	あと、17 ページ。
2:47:32	数、下に、下の図の右上、
2:47:36	なんですけど、ここで、
2:47:40	部材を追加してやって、PPB補強やってやるよっていう、
2:47:46	ことになってますんで右上の部分は黄色と。
2:47:49	赤が示され、ピンクが示されているので、
2:47:52	これについては、
2:47:54	既設部に、
2:47:56	あと追加部分を、打設してあってその一体化なったところを全部Ph. D. 補強するっていうふうに、
2:48:06	考えていいですか。
2:48:11	はい。中国電力の土屋です。
2:48:15	黄色とピンクで示した箇所について、PAGで補強するところになります。そこをだから乾燥してPh. D. やるということなんですね。その時に、
2:48:28	部材追加部分、補強した壁部等既設部っていうのはこれ何か接合されるんですか時ベル等で、
2:48:37	はい。こっち、中国電力です。こちらの補強ですけども、
2:48:42	まずこの既設の赤で塗られているところにですね、せん断後施工のせん断補強金を打ちます。これは始発をするところまで飛び出た形でせん断補強金を打ちます。
2:48:54	で、さらにこの黄色の柱するところはですねそこに新しく集金を配置した上で、コンクリートシェアすることで一体化を図るとそういう補強になっております。以上です。規制庁の三浦です。わかりました。要するに既設部に長めのPHVを付与しといてそれを
2:49:10	交える的にも扱ってしまうってことですねそれで一体がわかるってことですか。わかりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:16	せん断耐力としてはこれ両方を合算した形合算というか、一本の部材として評価してせん断耐力を見るってということなんですね。
2:49:24	わかりました。これに関しては理解しました。どうもありがとうございます。
2:49:29	それと、
2:49:34	137 ページまでちょっと飛んでしまうんですが、
2:49:40	まず一つ、これオール解析モデルでちょっと境界条件のね。
2:49:45	説明が足りないんですね。で、
2:49:49	特に地盤と等構造体、これをどういうふうに、何か地盤ばねってこれ例えば、
2:49:58	底面の地盤ばねって 134 ページで言っている。
2:50:04	canてる部分っていうのはこれ地盤まで入れてるんですか入れてないんですか。
2:50:10	底面、100、図 4-5 ありますよね。で、一番下層部の部分の、地盤のところには地盤までこれ入れられてると思うんですよね。
2:50:21	で、左上にこのキャンセル場の部分がありますよね。この部分っていうのは、地盤まで入れられてる、入れてない。どちらでしょうか。
2:50:33	そちらについても入れております。
2:50:36	言っているんですね、入れてるんですね。わかりました。その辺のところもですねこれちゃんと記載をしてもらいたいんですよ。
2:50:44	ちょっと地盤ばねどういうものを算定してきて入れたんだということしか書いていないので、
2:50:51	これは入れてください。それとあと、
2:50:54	137 ページこれそこDの取り扱いなんですけど、
2:51:00	この素行ばねっていうのは、基本的には、
2:51:05	地震の作用方向と直交する妻壁に取りつけるバネって考えていいですか。
2:51:23	中国電力の津田です。すいませんもう一度、コメントの方、このソクバ令和、どこにつけるかっていうことなんですよ。で、
2:51:30	例えば、134 ページの図があるじゃないですか。
2:51:34	今地震方向が、この図で見たときに、
2:51:39	明日から、
2:51:41	ちょっと画面になってるからですけど、
2:51:44	左下から右上にかけて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:47	地震の方向があるとしますよね。そうするとその時の底ばねっていうのは、
2:51:53	その地震方向の、
2:51:56	あれか、側面の側面取りつける場合、
2:52:03	はい中国電力の土屋です。今ご説明いただいた通りです。はい。それはだから地震方向に対して側面の地盤が、ちょっと側面も壁が、
2:52:15	あれですよね変にはらみ出したりしないように抑えてるっていう効果で入れてるんだと思うんですけど今度整備方向の時にこの総合ばねって導入されるんですか。
2:52:27	水平2方向+鉛直をやられますよね。そのときのそこをばねってどういうふうに取り付けられるんですか。
2:52:38	はい、中国電力イワコケです。
2:52:41	2方向の場合にはですね底面にばねを設定するように考えておりますが
2:52:47	この複雑な取水槽の構造に対して、この文字だけではですね、どこにバネがどうついているのかっていうのを今説明するような資料になっててすごいわかりにくくなっておりますので、一応購入方向含めてどこにどのようなバネを設定するのかっていうのをですね、
2:52:59	絵で見てわかるようにちょっと資料の方次回修正させていただこうと思います。
2:53:04	規制庁の宇井です。製品用語の時はそこ小原全部外しちゃうってことなんですか。
2:53:11	そういうのか。
2:53:14	ん。
2:53:19	ばね外からでもいいような気がすんだなと思ってたから、
2:53:22	それはあれですか、女川なんかあの海水ポンプ室と同じやり方になってます。
2:53:29	はい。中国電力土屋です。先行サイトと同じようなやり方になってます。
2:53:35	わかりました。
2:53:36	それで今言ったように、このモデルに対して今言った地盤までを含めた境界条件、
2:53:44	ばねをどういうふうに設けてくる、設けてるのかっていうこともね、ちょっともうちょっと詳細にこれ説明しておいていただけると良いと思います。
2:53:59	規制庁の服部です今の点に関連して、ちょっと私もそう思っていて、
2:54:04	できれば、例えば常時とEW加振とN-S加振で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:09	それぞれどこにどういうばねをつけていて、どういう鉛直ローラーをつけていて、どこにどういう水平ローラーをつけていてとか、そういうのがわかるようにしていただきたくて、
2:54:20	3次元で裏とかでわかりにくければ、適宜断面図とかも入れたりしながら、どこにバネがついてるかっていうのを、
2:54:29	とか、鉛直ローラーがついてるのかっていうのを入れ、
2:54:33	も含めてちょっとわかるようにしていただきたいなと思っています。
2:54:39	ちょっと例えば水ジョージア等、
2:54:44	側面に鉛直ローラー入れるのかどうかとか、そういうのもちょっと気になったりもしますので、入れてないと思うんですけど。
2:54:51	そういうのも含めてですね境界条件は、少し丁寧に説明していただきたいと思います。よろしくお願いします。
2:55:01	はい。中国電力の土屋です。今回ご提出した資料ではちょっと、
2:55:07	わかりづらいようになっておりますので図を使ってわかりやすく、記載の方修正いたし、訂正いたします。
2:55:15	規制庁の三浦ですけどあとこれも確認なんですけど、
2:55:19	常時荷重に関しては、徐々に番場に入れてあって、
2:55:23	それは地震時解析、地震需要、地震応答解析から求まってくる、常時荷重かな、それを入れてある。
2:55:32	その状態で、それを存在応力として、今度は地震時はバネが変わってくるので、
2:55:38	バネを存在応力を残しながら、バネを変えてやって解析をして、最終的な応力値を使う。
2:55:45	ということですか。
2:55:47	いわゆる荷重の組み合わせできないですよ選挙使ってるから。
2:55:51	その辺のちょっとステップ説明してください。
2:56:07	はい。中国電力のヨシツグでございます。おっしゃられる通り地震時と常時ばねの条件違いますので、まず常時地震、常時のばねを使って応力状態を担保した状態で、2番目の条件をこの地震時のばねの条件に変えて、
2:56:22	静的に一方向0をしていくということを今やっておりますんで、その時にちょっと水平方向のバネを入れたりとかっていう、どちらにしてもステップが入りますので、そのときに、
2:56:35	江藤条件を変えているっていうものをやっております。で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:38	今簡単にちょっと申しましたので、そのステップがわかるようなものを少し整理して、またご説明させていただいた方が、ご理解いただけるかなと思いますので、常時の時など水平 2 方向も含めて、
2:56:51	ちょっとご説明追加させていただきたいと思います。以上です。はい。規制庁の植田です。よろしくお願いします。基本的にはね。その常時と地震時で、まず水平ばねが違うさ、バネが違うってことが一つ。あとは非線形性を考慮してねやってないのでオール組み合わせができない。
2:57:07	だから、荷重の再開順序とかってのは例えば大切になる。
2:57:11	その辺ところが、
2:57:12	ちゃんと説明できるように、追加の資料をお願いしたいと思います。
2:57:21	はい。中国電力津田です。承知いたしました。
2:57:25	よろしくお願いします私から以上です。
2:57:36	規制庁のタニグチです。
2:57:40	5 ページ目のところなんですけれども、
2:57:45	ここに関しては、炉圧の低減を目的として埋め戻しの地盤改良と耐震補強を実施すると、ずっと書いてあるんですけど、
2:57:56	実際補強した範囲というのは、うん。
2:58:00	10、16 ページ目から書いてありますけどこの辺、最初の申請の時からも相当場所が増えてるような状態になってるんですけど、
2:58:11	これを耐震補強した耐震補強の対象としたということについての判断。
2:58:19	ここをこういうデータ移植をするんだっていうことを、
2:58:24	評価した。
2:58:30	ケーヨー、
2:58:33	説明していただけますか。
2:58:47	はい。中国電力のヨシツグでございます。こちらにつきましては
2:58:52	まだ地下水、
2:58:54	の設定をどうするかっていうところで、島根の場合は、土木構造物については、
2:59:01	新たに作る移動の効果を見ずに、液状化させるというこ等で評価をさせると、それを合わせまして、今度その周りを今度、地盤改良、
2:59:12	するというのでその影響をまず軽減するっていうのを、これを考えました。さらに、そのかかってくる荷重というものに対して、さらに裕度を上げると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:22	ということで、せん断に対して足りないところについては細江鳥羽で曲げ等については、足りないところで補強をしていたというのが経緯でございます。以上でございます。
2:59:35	はい。その辺、そういう経緯があるのだっていうのだな。わかった。何となくわかってはいるんですけど。
2:59:43	その辺を、
2:59:45	何らかの形でフローに書くか、何か説明をしておいていただけないかなと思ってるんですけどいかがでしょうか。
2:59:57	はい。中国電力のヨシツグでございます。この、
3:00:02	先ほど 5 ページの補強の概要のところに、
3:00:06	衛藤康行った、今私がちょっと申しましたところのような経緯を少し文で、どういった、
3:00:13	その 0 に対してどういう対応というところの前段のところにですね少しあの地域を考えたいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
3:00:23	それからですね、こういう形で、補強する場所が決まったと。
3:00:30	県と書いていくとか、実際の結果として出てきたのがこの配筋図なんだと思うんですね。
3:00:39	この廃棄図等、この評価した部位を、
3:00:42	見ると、何となくわかっていくところもあるんですけど、例えば 13 ページ目のところの先ほどもお話が出ました。
3:00:53	北川の妻壁のところ、先ほど、
3:00:57	千田補強を入れたところと、それから部材を厚くしたところについては、確かに 17 ページの断面と、
3:01:09	このはい、13 ページの背景を見れば、
3:01:12	そう。こういう考え方でやったんだってのはわかるんですけど。
3:01:17	やっぱりこの辺の説明が足りないような気がしますので、
3:01:22	同様、例えば配筋図の中に、ここはこう考えて、配筋を変えたんだっていうようなものをもっとわかるようにしておく、おいていただかないと、
3:01:33	実際の先ほどの、
3:01:37	評価の中で運用していくのかっていうところも変わってくるような気がするんですけどいかがでしょうか。
3:01:48	はい、中国電力の土谷です。
3:01:50	今の記載ですと、どこを補強したというところしか結果しか書いておりませんので、それ、その内容がわかるように、記載の方を追加していき

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>いと思っております。はい。ありがとうございます。断面図なり、使っ使っ てわかるようにしていただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
3:02:10	<p>それからもう一つですけれども、</p>
3:02:13	<p>今回の</p>
3:02:18	<p>補強した部位の部分の一つに控壁が出てきているんですが、実際壁の 部分が、</p>
3:02:29	<p>補強してますよっていうのは書いてはあるんですけど、</p>
3:02:33	<p>控壁の補強した結果が全然どこにも書いてないんです。要は、そこを、 部材を上げ、入れて、配筋はこうしましたって、</p>
3:02:44	<p>というその配筋として評価して、</p>
3:02:49	<p>どういう配筋にしたのかっていうのがわからないんです。それをきちっと 書いといていただけないかなと思ってらるんですがいかがでしょうか。</p>
3:03:00	<p>はい。中国電力の土谷です。控壁につきましても、先ほどと同様に、どう いう、どのように施工する予定かということがわかるように記載をいただ き、記載いたします。</p>
3:03:11	<p>はい。よろしく申し上げます。</p>
3:03:17	<p>あと控壁の配筋は、</p>
3:03:22	<p>今、何だかわかれてないかいていただくって形ですけど、</p>
3:03:26	<p>ここ配筋のやり方は、</p>
3:03:30	<p>どういう形でされる予定ですか。</p>
3:03:37	<p>はい。中国電力の土谷です。こちらの控壁につきましては、</p>
3:03:43	<p>導入ウエキと書いてある部材があるかと思えますけれども、そちらに同 様なものを考えております。</p>
3:03:54	<p>あと、当然定着する側のところは、</p>
3:03:59	<p>例えばコンクリートを</p>
3:04:01	<p>全部は走って、</p>
3:04:04	<p>何かするような形にされるのか、その辺、</p>
3:04:08	<p>どういうふうを考えてらっしゃるのかなと思ってちょっと聞いたんですけ ど。</p>
3:04:15	<p>はい。中国電力のヨシツグでございます。今の谷口さんおっしゃられた 通り、</p>
3:04:20	<p>もともとのある壁の部材と同配筋の基本同配筋だと考えております。そ れについて、衛藤定着を既設のところとって、この場合はポストイット 場ではないので、</p>
3:04:34	<p>と、</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:35	先ほど同じように提示
3:04:38	規定の部分に定着をとる、もしくは
3:04:42	定着系なんかで取るということで一体化を図って、構造 1 回化させるということを計画しておりますので、こちらの結果について、今ちょっとお示しはできていない。
3:04:55	青色のところの光壁のところはできておりませんので、その辺りを再度整理して、
3:05:02	他のところの配筋図等と同じようにですね、どういったことをやっているのかというのがわかるような図面にさせていただけたらと思っております。以上です。はい。よろしくお願いします。以上です。
3:05:28	はい。
3:05:31	待ってください。
3:05:46	規制庁の大橋です。
3:05:50	これちょっと丸三野。
3:05:53	資料なんですけど、192 ページのところ、
3:05:58	いいですか。
3:06:00	6.3 で、土木学会、
3:06:03	マニュアル 2005 の適用性の話をしまして、
3:06:07	実際この紙、
3:06:10	ここに資料に直接関係あるわけではないんですが、
3:06:17	今に、
3:06:18	土木学会マニュアルが、
3:06:21	2021 が出て、
3:06:26	将来的には
3:06:28	原子力規制委員会で、
3:06:31	空 4601 の 2021 号エンドウ数は、将来的には
3:06:36	行うという計画になってまして、そうすると、今
3:06:41	揚力 01-202X-
3:06:49	パプコメ版は、
3:06:52	新しいマニュアルを参照するような、
3:06:55	記述になっててですね、将来的には、土木学会マニュアル 2005 もアップデートされていくんじゃないかなと思うんですが、
3:07:04	そうなった場合これの適用性っていうのについてちょっともし知見があれば、
3:07:09	お聞かせいただきたいなと思うんですけども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:13	以上です。
3:07:22	はい。中国電力のヨシツグでございます。
3:07:26	この辺りのところを大きく、
3:07:28	変えるというようなまだ情報も入っておりませんので、最終的に、そのまま残った形としていくのかそれとも技術資料として、もともとは
3:07:38	結果等も技術資料で実験等もやることができるものですのでそういったものを残していくのかっていうところはちょっとまだ、
3:07:45	我々も把握できてないところでございますので、
3:07:49	審査の中でまだそういったところの状況を我々も理解、把握できましたら、また少しご説明をさせていただけたらと思います。以上です。
3:08:00	規制庁大橋です。
3:08:01	私は全部新しいマニュアル把握はしてないんですけど、
3:08:06	結果的に今までのやつが、大きく見直してということではないと思いますしたんで、そういうことで理解しておきます。どうもありがとうございます。
3:08:16	はい。中国電力のヨシツグでございます。
3:08:19	衛藤。
3:08:21	より、
3:08:22	もう少し変形照査のようなものに移っていくってところに今なっておるんですけども今までのものを否定するような形にはなってなかったと思いますので、確認できたらまたご説明させていただきたいと思います。
3:08:38	規制庁の服部です。それでは私からちょっと何点か、さつとさつとできるかどうかわかんないんですけど。
3:08:44	17 ページをお願いします。
3:08:47	今回ポストヘッドバーの的、対象部材が大分許可から増えていて、
3:08:54	許可の時はいろいろと審査会合でもやったりして、適用性を確認した上で、取水槽のスクリーンスの壁、
3:09:04	だけにありますよみたいなそういうことになったと思うんですけど、今回こっただけ増えてるんですけど、
3:09:10	スクリーンの壁以外の適用性について、何か許可みたいなことを強いなのかなあということで、ちょっと確認したいんですけど、やったところで、
3:09:21	例えば、せん断補強忌避だとか指摘費だとか、せんなスパン比だとかそこら辺の花強いんだと思うんですけど、
3:09:31	適用されるんすんできるんだよっていう話は多分なると思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:36	兆候なんだろう。資料の体裁として、許可であれだけやったものについて、これだけ増えていたら、何らかのこの適用性の説明が要るのかなと思うので、
3:09:46	なんかそういうのの資料って作ってますかという確認なんですがいかがですか。
3:09:58	はい。中国電力の吉本です。
3:10:00	江藤後施工せん断補助金の話ですけれども、
3:10:04	取水槽に限らず他の構造物でもやってるものがありまして、屋外重要土木構造物全体に絡むような話だと思ってますので、先ほどご説明した資料、
3:10:15	②の方で、後施工せん断補強機の適用性についてはCCbとPh. D. に書類に対して説明をしていくつもりで考えてます。以上です。
3:10:26	規制庁の服部です。何かそんな資料なんかあんな許可みたいな。
3:10:31	あそこ、あれは何だっけ。そもそも論の
3:10:37	ポストヘッドバーのそのものの適用性とか含めたすごい、すごい資料になってるんですけど、そこは共通なのかなと思うんですけどね。部材単位の話だけだと思うんですけど。
3:10:50	そのすべての部材に対してそんな、そういうことをやるという、
3:10:55	そう、何だっけ表か何か作るという意味なんでしょうか。
3:11:01	はい。中国電力のヨシツグでございます。
3:11:04	衛藤。
3:11:07	基本的には使用しているところについてはその適用性という資料を作ってお説明をしようと思っております。多くは、その部材の厚さですとかそのスパンCというところがメイン、御説明になると思っておりますのでその辺りを含めてご説明したいと思っております。以上です。
3:11:24	この規制庁のハットリつわかりました。
3:11:26	24 ページをお願いします。
3:11:29	ここのケースのところの計算なんですけども、例えば、23 ページとカー。
3:11:36	145 ページを見ると、時刻は全部で 26 ケースですよ、26 時刻ですよってあるんですね、先ほどし、ストレナーのところは 1 億減ってるので、
3:11:46	そうするとこれ記載だけなんですけど、3 掛け 3 ヶ所断面 × 9、
3:11:52	時刻掛ける 12 はって、
3:11:54	何か違うんじゃないかなって思ったんですけど、これ、どうなんですかね。
3:12:03	はい。中国電力の土谷です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:06	今コメントいただいた点は、の確認ですけれども、3次元構造解析による調査と書いてあるケースのところの括弧のところ、旧ジコグというふうに書いてあったところが、
3:12:17	3段目×9時刻と書いてあるところが、先ほどの説明と相違があるんじゃないかというふうに受けとめております。
3:12:26	そういうコメントの通りだと思いますので、こちらの方についてちょっと聞きかせ記載を工夫したいと思います。
3:12:33	規制庁の服部ですちょっとあまり詳しく見てないんですけどね、例えば2断面×9段時刻を掛ける12はプラス1断面×85掛ける12は、みたいな形なのかななんて思ったりもしたので、
3:12:45	何か何か的
3:12:48	何かこれ見ると27事故があるように見えちゃったりしたので、少しそこら辺を、
3:12:53	適正化できるようにしていただければと思いますのでお願いします。
3:12:58	あとは、何だ。
3:13:05	30、139ページですね、これも適正化なんですけど、
3:13:10	ずっとやってれば当然なんですけど、今回解析コードは有限有効力解析はFLIPで、
3:13:19	電話の解析はTラップを使うっていうことですよね。
3:13:24	だから例えば、
3:13:26	と同じ水槽でも応答を見るときでも、横断面は全部FLIPであって、縦断面はTラップと違うコードで、
3:13:36	評価するっていうことなんですよね。
3:13:38	なので、
3:13:39	考え方によってはFLIPで税務解析もできなくもないので、そういうところを紛らわしいさを解消するために、ここでは解析コードのFLIPは有効力解析に全部、
3:13:53	全部これを使いますと、税務解析は全部Tタップでやりますっていうような、括弧書きでも何でもいいんですけど、そこら辺を明確にさせていただくことはできますでしょうか。どうぞ。
3:14:05	はい。中国電力の土谷です。FLIPatアプリそれぞれの前に有効力解析の場合はもしくは、または当然、応力解析の場合はというようなことを、
3:14:16	付け加えていきたいと思います。
3:14:19	規制庁のハットリですはいわかりました。67ページお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:26	ここにジョイント要素の配置の説明図があるんですけども、ここに凡例として 64 ページの材料名を入れていただいた方がより
3:14:38	例えばMMRと岩盤はの間には入れないんだよということが明確になると思うんですが、この加来井戸に対して判例ってつけられますからどうぞ。
3:14:56	はい。判例を記載する。中国電力のツチヤです判例を記載するようにします。規制庁のハットリですわかりました 94 ページをお願いします。
3:15:05	ちょっとこれもちよっと記載だけの話なんですけど、
3:15:09	積雪荷重の西海市っていうのは、地表面って書いてあるんですけど、
3:15:14	ここちよっとここでちよっと違和感を感じたのはこの 2 次元湯二次元断面は、地盤もモデル化してるんですよ。
3:15:22	地表面って書くと何か地盤に、
3:15:25	というイメージがちょっと浮かんでしまったんですけど、これって、躯体表面なんですよ。いつ、厳密に言うと、
3:15:34	何か地表面っていうと何か散ってついているから、何か地面かなみたいな。確かに、
3:15:40	躯体表面も地表面というは地表面なんだけど、何か、
3:15:43	そうなんですよねっていう事実確認等、
3:15:48	だけさせていただければなと思うんですけど、ちょっと違和感を感じたんです。
3:16:02	はい中国電力イワコケです。
3:16:04	実態としましては、
3:16:07	取水槽の躯体の表面、また、中小番。
3:16:11	要は、空に通じてる中小盤の表面、あとは、地上部にも、
3:16:17	取水槽がないところの地盤の地表面にもかけておりますので、それがちよっと今の地表面に考慮するだけではわかりにくいのでどこに与えてるのかわかるように記載を適正化いたします。以上です。
3:16:29	規制庁の服部ですわかりました地表面にもかけて、本当の地盤の上にもかけてるってことですか。わかりました。
3:16:36	ちょっとそういうふうにならぬように今言ったように、次、指標面と、具体のその抽象版とかその具体的な部位まで書くかは、別にしてわかるようにしていただければと思いま記載の適正化をしていただければと思えますので、よろしくをお願いします。
3:16:52	109 ページをお願いします。
3:16:57	と、ちよっとここも事実確認だけなんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:00	取水槽内部の水を固定水として扱いということの趣旨なんですけれども、
3:17:07	多分固定水として扱う等、
3:17:11	ウエスガードの自由表面があるような見ズー。
3:17:15	のイメージにならないのかなあということで、
3:17:19	この固定水として扱いというのは、
3:17:22	どういうことを意味してるのかなあというのだけ確認したいんですけど。
3:17:28	例えば固定水として、失点重量をかけてみたいなのを言っているのか。そうすると、その下のウエスタガードのこの自由表面のある、
3:17:39	概念図とちょっと何か概念が違ったりもしてちょっと混乱しちゃったので、
3:17:44	もしかするとスロッシングを見ないんですよってということなのかもしれないなあとか思ったりもしてるんですけど。
3:17:50	ここで固定水を、
3:17:53	として扱って書いたところの、
3:17:56	考え方だけ、事実確認させていただければと思います。
3:18:11	はい。中国電力の吉住でございます。今羽鳥さんおっしゃってこれは
3:18:16	どちらかというと、その水槽の中にある。
3:18:19	水のようなもので流れているような水ではないという意味で、ちょっと、
3:18:24	固定水って書いておまして、ちょっと先行からそういった文字をちょっと使ってたので我々も使用させていただいたというのが、正直なところでございます。以上です。
3:18:34	規制庁のハトリですはいわかりました。別にこだわる点でもないので、何か何かちょっと下の、
3:18:41	動水圧分布とイメージが違うなど。
3:18:45	ということではいえ、理事会了解しました。
3:18:52	と、
3:18:56	122 ページお願いします。
3:19:00	これ、地下水の影響を考慮した検討ケースっていうのは、
3:19:04	あくまでも機器に対してやる。
3:19:06	というりかい。
3:19:09	というふうにも読めるんですけど。
3:19:12	国体の評価はやらす 2、あくまでも床音だけ出すというり意味記載してるということよろしいでしょうかどうぞ。
3:19:24	を、はい、中国電力の吉本です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:27	衛藤。
3:19:28	今の方針につきましては先ほどの資料②の方に、
3:19:33	記載がございますので、
3:19:34	資料②は 173 ページを、
3:19:38	ご覧ください。
3:19:51	173 ページの一番下の段落になりますが、
3:19:55	また、地下水については地下水位低下設備に期待せず、保守的に高く設計地下水を設定していることから、機器配管系の床応答の影響を確認するため、地下水位が低下している状態での影響検討を実施する。このような方針を記載させていただいてます。以上です。
3:20:11	規制庁のハツリですわかりました。何かちょっと私の記憶があやふやなんですけど。
3:20:19	防波壁をやるときに、
3:20:21	背面の水位が高いか低いかによって、
3:20:24	低い方がー
3:20:25	なんか、
3:20:27	反らん伴侶食うんが取れないからどうのこうのっていうようなことで評価すると言ってたような気もしないでもないな。ちょっと場違いだったらすみません。
3:20:39	ということで何か私はこの、
3:20:41	地下水んが低い場合の影響検討というのは、躯体に対してもやるのかなってちょっと思ってたので、ちょっとそこら辺の事実確認をさせていただきましたけど、私の記憶違いなら記憶違いと言ってください。
3:20:53	はい。中国電力の吉住でございます。津波の場合は、
3:20:59	逆に水が高いところと、海水面の方のヘッド差がついてる方が厳しいところが、
3:21:05	ありますので、基本はそういったところの厳しいというので、やることを、は井川の方ではやっておりますので、
3:21:14	低い場合っていうのは、多分あまり検討してなかったと思います。で、
3:21:19	衛藤取水槽をこの辺りににつきましては、地下水が高い場合の方が動水圧、水圧分がかかってきますので、躯体としてはそちらの方が厳しい。あと、液状化のFLIPの検討等も行っていきますので、
3:21:34	躯体としては、今の高い方で評価ができるんじゃないかというふうに考えております。以上です。
3:21:41	規制庁のハツリですはいわかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:44	135 ページをお願いします。これ記載なんですけど、
3:21:48	さっき、
3:21:49	12356 行目のところで、
3:21:54	採火方法と直交する壁にというのを、これは誤記なので並行する壁、平行な壁にって言ったんですけど、
3:22:02	何かよくわかんない直交する壁なんじゃないかなとちょっと思いつつ、例えば、最下方向があって、
3:22:10	バネって、
3:22:12	この最下方向に直交する壁につけるんじゃないのを並行する壁につける。
3:22:18	何か何か。
3:22:25	雑賀法子最下方向。
3:22:28	最下方向に、
3:22:30	並行。
3:22:32	へーコーナー、ちょっとよく、
3:22:39	はい。
3:22:40	こんな風に、
3:22:42	そういう意味か。
3:22:45	それ以外に、
3:22:47	とか、あ、すみません、何か。
3:22:56	はいわかりました合い了解しました。
3:22:59	阿藤。136 ページこれ、135 ページの記載のなんですけど、
3:23:05	ちょっとやっぱK0、KH0 とかKHとかの、
3:23:10	がいっぱい出てくるので、例えば 137 ページは、
3:23:14	反力係数はKHで基準値はK10 って書いてあるので、136 ページの 135 ページも、
3:23:23	KSとかkVとか、
3:23:28	も後につけてもらった方が、1 個すごい読みやすいかなと思ったんですが、
3:23:34	これももう本当に記載というか、
3:23:36	お願いというか、そういうレベルなんですがいかがですか。
3:23:41	はい。中国電力の土谷です。江藤ただし書き以降のところになるかと思えますけれども、記載のほう追加いたします。
3:23:50	規制庁の八田ですただし書きただし書きじゃなくて、
3:23:55	例えば 136 ページナラ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:23:57	水平方向せん断力係数、
3:24:01	Aケースケースケースは、
3:24:06	とか。
3:24:10	そんな感じで、だから基準値の後はKV0とかついてるんですけど、
3:24:16	反力係数の後にはこう記号がついてないので、
3:24:21	これをつけてもらったほうがわかりやすいかな。
3:24:24	137 ページは、面直方向地盤反力係数じゃないや。
3:24:30	の地盤の係数KHはっていう表現になってるので、
3:24:34	瀬下と下の何だろう、式との対応がわかりやすいのかな。
3:24:40	と思ったんですがわかるちゃわかるんで、
3:24:44	ちょっとお願いにベースに近いということですがいかがですか。はい。中国電力の千田です今ご指摘いただいた点理解できましたので、文章の方に、
3:24:54	その記号を書くように、して参ります。
3:24:59	規制庁のハットリですわかりましたそれで、136 ページはケースって使ってるんですけど。
3:25:20	この 2 行目の水平方向せん断反力係数あって後は何がつくんですか。
3:25:30	計数の後の記号は何がつきます。
3:25:38	はい中国電力の土谷です。こちらはKS、前のページで記載してあるものがつくようになります。規制庁の服部です。そうしましたらここにもAポツとBポツで分けて係数を入れといてもらえば、
3:25:51	このページだけで完結するんで、いかがかなと思うんですがいかがですか。
3:25:57	はい。中国電力の土谷です。記載を適正化いたします。
3:26:03	規制庁のハットリですはいわかりました。
3:26:06	あと根井、あと、
3:26:10	あれ。
3:26:13	ごめんなさい 136 ページの、
3:26:16	この記載なんですけど、2 行目。
3:26:19	これがんくて、9. の 1 がちょっとおかしいのかなっていうふうに見てたんですけど。
3:26:25	鉛直ばねに設定する鉛直方向地盤反力係数、KV及びせん断方向地盤バネーに設定する 0 っておかしくないですか。
3:26:38	はい。中国電力の土谷です。失礼いたしました。こちら 0 ではなくて点。
3:26:44	もしくはないほうが、読みやすいかと思いますので修正いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:26:51	規制庁の服部です。
3:26:53	丸尾とるだけでいいんですね。
3:27:00	んですね、
3:27:02	そうですね。わかりました。はい。多分ちょっと、ちょっと見直してもらえればと思います。ちょっともう1回読み直してもらって、ちょっともう読めなかったので、都丸をとるだけでいいような気もするし。うん。わかりましたお願いします。
3:27:28	規制庁の服部ですあと214ページ、お願いします。
3:27:41	この紙、Sクラスの施設を支持する機能を損なわないことに対する許容限界の考え方なんですけど、
3:27:50	ちょっと私が思ったのは、
3:27:52	この支持機能というのは、
3:27:56	機器を支持する機能のことかなと思っていて、
3:27:59	できワ一必ずアンカーD、
3:28:03	支持されてるもんだというイメージが少しあるキーワアンカーで、躯体に固定されてるというイメージがあって、
3:28:17	指示機能というのわあ、
3:28:19	大体アンカー。
3:28:22	に全部絡むのかなのかなと思っていたんですね。
3:28:26	そのアンカーに支持されるものについては35ページを見ると、
3:28:31	部材降伏
3:28:34	を、
3:28:35	今日限界とする。
3:28:36	というような記載も見えるんで要するにあまりひび割れてしまうと、アンカーが緩んでしまうっていうことだと思うんですけど。
3:28:45	これ一、
3:28:48	圧縮縁コンクリートの非限界ひずみ1%というのは躯体が崩落しないレベル公開しないレベルの今日限界なので、
3:28:58	なんかちょっと表現方としては甘いのかなと思うんですけど。
3:29:02	この点についていかがですか。
3:29:14	はい、中国電力イワコケです。
3:29:16	今言われてることはですね資料2の方の、
3:29:22	14ページに記載をしております。
3:29:30	息子の2-1の支持機能というところについての記載があるところなんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:29:36	2パラ2段落に正しいのところですね。
3:29:40	正の後に加えて、
3:29:42	ですね、加えてあと施工アンカー一定着部周辺においては損傷部材降伏程度であれば、何々ということで
3:29:50	フクマ疑問もどうしてもあることを確認するということでこの後施工アンカー一定着部周辺についてはそのように対応するということで方針の方に記載をさせていただいております。
3:29:59	一方取水槽の方の機器配管系を見ると、
3:30:03	埋込金物等でですねさ指示されてるもの。
3:30:07	が大半でしてそれらについてはこちらには該当しないと考えておりますので、圧縮縁コンクリートひずみ1%でいいのかなと思ってますがいつ、ちょっと全部を確認できてるわけではありませんので、
3:30:19	このようにあと施工アンカーで指示されてるものもあるかもしれませんのでそちらについてある場合には、そのことも含めてこの記載を、両方併記してわかるように区別して、
3:30:31	修正させてもらおうと思います。以上です。
3:30:34	規制庁の服部です。はい。
3:30:36	一部わかりました。あと施工アンカーって書いてあったんですね。
3:30:42	でもトガサキ施工アンカーの場合は、
3:30:46	定着が随分深くて、オクの方まで入ってるし、真ん中で曲がったりだとか、非常に強い定着をしているので、
3:30:55	これぐらい農協玄海でも、
3:30:58	支持機能は保持できるという考え方。
3:31:03	んですね、ちょっと先行もそうなのかちょっと今ちょっと思い、
3:31:09	ちょっと見てなかったんではわかったんですけど、ずっともうアンカーと言えば、あと施工アンカーも先瀬古なんかも同じものなのかなと思う。
3:31:16	ていたので、
3:31:18	ちょっとそこら辺が頭の中で今混乱してるんですけど、
3:31:22	ちょっとわかりました。ちょっと私も確認してみますけど。
3:31:27	ちょっと中国電力の方でも、ここ最近、先施工なんかでもこうずっと長い子安価で服がついてるようなやつと、ただの先ほど言ったような埋め込みパネルみたいに、
3:31:38	何か時ベルみたいなのが可能な板についてベターってつけるようなやつは深くない10センチぐらいか、そこら辺なので、あと施工アンカーと変わらないのかなっていうイメージもあったので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:31:49	ちょっと私も確認しますけどちょっと中国電力でも少しだけ確認しといてもらって、ここは少しそこら辺は米かなんかでも結構ですので、何かあと施工アンカーはこうこうこうですよという、
3:32:01	協議会ですよということをやっと追記していただければ、ちょっとわかりやすいかなと思いますので、その点だけよろしくお願いします。
3:32:09	はい。中国電力です。
3:32:11	土肥、今言われたことについてこちらでも人工島守島諸島含めてですね内容確認して、必要に応じてこちら、適正化させていただきます。以上です。規制庁の服部ですわかりました。最後の適正化、誤記というか適正化になりますが、
3:32:26	218 ページ。
3:32:30	先ほど 219 ページは修正しましたんですけど、218 ページもありますのでよろしくお願いしますということで締めたいと思います。よろしくお願いしますこれはどうしても残さなくても結構ですけど、
3:32:43	ということですよというだけの話です。私から以上です。
3:32:47	他にあればお願いします。
3:32:51	2 の資料も含めて全体的に、
3:32:58	江崎さんよろしいですかどうぞ。
3:33:02	特にないから早く来、ね、整理しよう、コメント規制庁のハットリですはいわかりました。では、ヒアリング、
3:33:12	事実確認でそろったようですので本日のヒアリングはこれで終了いたします。どうもありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。